四条畷市立四条畷南中学校
プール新設工事設計図

番号.	図面名称	番号.	図面名称
101	表紙 図面リスト	301	電気設備特記仕様書
102	建築工事特記仕様書	302	附近見取図, 配置図
103	配置図, 附近見取図	303	プール平面図
104	平面図	304	照明器具姿図
105	立面図, 断面図		
106	仕上表, 平面詳細図		
107	断面詳細図 (1)	401	衛生設備工事特記仕様書
108	断面詳細図 (2)	402	附近見取図, 配置図, 凡例
109	建具表, 展開図	403	平面図(1)
		404	平面図(2)
		405	浄過槽詳細図
201	配筋標準図		
202	軸組図, 基礎&地中梁, 屋階伏図, 基礎, 柱, 大梁, 地中梁配筋リスト		
203	床版, 小梁, 壁, 土圧&水圧壁 配筋リスト, 雑配筋図, X2, Y6 通架構配筋図		

総枚数 21枚

竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	101
図面名	表紙 図面リスト
縮尺	
設計番号	
設計年月日	50・4・

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉[illegible]

建築工事特記仕様書

1. 総則

工事名称：四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
工事場所：大阪府四条畷市大字南野1110
建物概要：構造 鉄筋コンクリート造　地下　階　地上　階　塔屋　階

面積リスト

		本工事建物 M²	既設建物 M²	合計 M²
床面積	1階	262.280	3,004.393	3,266.513
	2階		1,578.918	1,578.918
	3階		1,673.853	1,673.853
	4階		1,572.753	1,572.753
	P.H		48.420	48.420
延床面積		262.280	7,898.237	8,160.517
建築面積		262.280	3,201.677	3,463.957
敷地面積				20,323.00

工事範囲

工事区分	本工事	別途	工事区分	本工事	別途
建築工事	○		~~搬送機 設備工事~~		
~~敷地 造成工事~~			~~電話配線機器 取付工事~~		
屋外 建築工事	○		~~樹木 設備工事~~		
~~既設建物 撤去工事~~			~~ネオン、広告塔、看板 取付工事~~		
			家具 製作 工事	○	(別途)
			~~機械 工事~~		
電気 設備工事	○				
給排水衛生 ~~ガス~~ 設備工事	○				
~~冷暖房~~ 換気 設備工事	○				

工事取合区分

工事項目	建築	設備	別途	工事項目	建築	設備	別途
~~機械基礎 屋上~~				~~ガソリンタンク類の防火塗料~~			
機械基礎 屋内		○		~~切断機械~~			
~~機械基礎 屋外~~				~~雨水等の排水ポード~~			
~~犬井点検口~~				~~ライカタンク外部 基礎工事~~			
床下点検口	○			~~煙突~~			
~~パイプシャフト点検口~~				~~他人民間普通ガス等類の防火塗料~~			
~~ダクトシャフト点検口~~				機械室遮音断熱床防水工事		○	
各種器具取付持補強		○		~~建築構造を利用するエアチャンバー等の組密工事~~			
~~梁壁貫通スリーブ(ダクト用)補強~~							
梁壁貫通スリーブ(パイプ用)補強	○			外気取入及排気ガラリ		○	
壁貫通孔用補強	○			~~サッシ~~ガラリ			
~~市井水槽 書類棚工事~~				ドアーガラリ		○	
~~全上 マンホール蓋取付工事~~				換気扇ルーフファン取付工事		○	
排水槽 排水ピット工事	○			~~ダクト天井吊C型鋼工事~~			
仝上 マンホール蓋取付工事	○			~~電動シャッター手元操作盤と~~			
~~L型浄化槽 外部のみ一式~~				~~圧縮空気配管工事~~			
雨水会所 ~~ポーチ~~その他会所		○		~~自動散水制御盤圧縮空気工事~~			
~~汚水会所~~ 側溝排水会所		○		~~受変電室等の床軽量コンクリート打~~			
~~浄化槽~~				~~遮蔽器具~~			
~~薬品等及バーナー 排気筒~~				消火器			○

2. 仮設工事

基準地盤：係員が現場にて決定する。配置図参照
仮囲い：原則として鉄板塀とし H=2m程度とし位置は係員の指示による
足場
係員詰所：床面積 10 ㎡程度とし、係員の承認を得て建てる。
~~地耐力試験~~：ケ所、積載荷重 ton とし、位置及び試験方法は係員の指示による。
長期設計耐力 t/㎡（参考）
仮設電力・他：残工引渡し迄の工事用仮設電力、用水、ガスの使用費用は請負業者の負担とする。

3. 土工事

埋戻及び盛土：良土と認めた残土は係員の承認に依り使用出来る
残土処分：構外搬出　場内に敷ならし　構内指示の場所にたい積
山留工法
矢板：矢板 木製矢板(側板ジョイント板)　埋め殺しケ所 1ケ所　延べ長さ 約6.5 m
腹起し切ばり：腹起し 製　切ばり 製
~~法面処理~~：上質 土羽打とする

~~4. 地業工事~~

既製コンクリート杭：遠心力鉄筋コンクリート杭(高温高圧養生杭) 長さ m 径 mm 長期設計支持力 ton
プレストレストコンクリート杭 種 長さ m 径 mm 長期設計支持力 ton
製造所
場所打コンクリート杭：工法　長さ m 径 mm 長期設計支持力 ton
継手：半自動溶接継手
杭打設備：ハンマー　式　ラム重量 ton　最終貫入量 mm（参考）
杭打工法
試験打杭：本 径 mm 長さ m
載荷試験：ケ所 ton 載荷方法 直接載荷（載荷準備量 ton）
反力載荷（反力杭 本 径 mm 長さ m / 直接載荷準備量 ton）

5. コンクリート工事

	所要強度 kg/cm²	施工種別	混和剤	施工範囲	種別	気乾比重
普通コンクリート	180	A		フーチング		
土間コンクリート	135	A				
軽量コンクリート 構造用						
軽量コンクリート 非構造用	75	PC-C		図示範囲		1.52
水密コンクリート						
軽量気泡コンクリート						

一註一 レミコンプラントはJIS認定工場とする。
軽量コンクリートは発泡パーライト 仝等とする

6. 鉄筋工事

鉄筋の材質

	規格	使用ケ所	備考
丸鋼	~~SR24規格品~~		
	SR24規格相当品	下記以外	
異形鉄筋	SD30規格品	柱 梁 基礎 潮口部補強	
	~~SD35規格品~~		
	~~SD40規格品~~		

~~鉄筋のガス圧接~~
施工範囲：柱主筋φ mm以上　梁主筋φ mm以上
施工業者：日本圧接協会指定業者とし、同協会の仕様書を適用する。
鉄筋の重ね継手：鉄筋の定着及び継手長さは日本建築学会標準仕様書による。

7. 鉄骨工事

鉄骨の材質

	規格	使用ケ所	備考
普通鋼材	SS41規格品	屋根受	
	~~SS41規格相当品~~		
高張力鋼材			

高力ボルト：高力ボルトの等級 F T。
防錆塗料
製作工場

8. 組積工事

規格

	種別	施工ケ所	備考
コンクリートブロック	B	図示範囲	
〃			
煉瓦			
ALC版			

9. 防水工事

防水仕様

施工ケ所	防水種別	仕様	施工業者	保証年限
プール本体	モルタル防水	責任施工		年
				〃
				〃
				〃
				〃

コーキング材：外壁取合（4方）及び外壁貫通金物類の周囲は必ずコーキングを行う 10×10

種別	施工ケ所	メーカー又は商品名
油性コーキング	外部 サッシ ドアー廻り	コーレックス エバシール バルカテックス
チオコール系コーキング		

10. 石工事

種別	施工業者	備考
石 大理石工事		
テラゾーブロック工事		
擬石 ブロック工事		

11. タイル工事

種別	メーカー又は商品名	役物	施工方法
~~ジキトンスリップタイル~~	~~伊奈 信楽 淡路 仝等~~		張本島沢足
~~コーステンレスストアーH長条アルミチャストスペクロータイル等~~	~~協和商会 仝等品以上~~		〃

タイル目地材

12. 木工事

	材名	樹種	品質	仕上	備考
構造材及び軸受材	土台	檜 米松 ひば			
	柱 間柱 筋違	杉 米杉 檜			
	根太 根太掛 大引	檜 杉 松			
	タ、ミ下 床板	杉 松 米杉			
	胴縁 野縁	杉 米杉			
造作材	柱	檜 米松 杉			
	鴨居 附鴨居 長押	檜 米松 杉			
	た、み 寄	檜 米松			
	敷居	檜 米松 松			
	廻縁	杉 米松 米杉			
	枠類	檜 米松			
	額縁	檜 米松			
	巾木	檜 米松			

工法 種　細部については設計図及び係員の指示による。

集成材

記入寸法：構造材は挽立寸法、造作材は仕上り寸法とする。
出入口枠：原則として室内外の仕上げが異る時（例、室内ウォールナット等の練付ベニヤ材）室内側は見え掛り全材とする。但し明記のある場合は設計図による。
造作施工業者：木工造作施工業者は次の通りとする。
不透明塗装：桧ベニヤとする。
下地合板

13. 屋根工事

三星式折板 S-60 ㎜ 両面カラー 三星金属 仝等
(一部片面カラー フェルトン10%エ場貼 図示範囲)

14. 金属工事

防錆処理：外部に取付ける金物類で下記のものを亜鉛メッキ処理とし、他は防錆塗装（鉛丹系）を行う。但し明記のある場合は設計図による。

亜鉛メッキ箇所
品機 クラップ 屋上改め点検口

防蝕処理：非鉄金属製品等でこれに接する他の材料により腐蝕する恐れのある場合は防蝕処理を行う。

材料指定

材名	材質形状寸法	メーカー又は商品名	備考
錆鉄製掴き金		打板技 ニッコー 仝等	
〃 グレーチング		〃	
フロール樹脂品	クラップ フック等 ステンレス製	協和商会 仝等	

15. 左官工事

防水モルタル：防水剤 ローケス アスニュー、ウオタイト 又は 仝等
プラスター：色調 種石大理石粗砂 6㎜ 粒径 mm 目地棒ピッチ
人造石テラゾー
現場研出し
吹付材

材名	粒度	吹付回数又は吹付厚	メーカー又は商品名	備考
アクリル系サンド		2回	近畿化学 恒和化学 仝等	

16. 金属建具工事

種別	製作業者	備考
鋼製建具	東亜建材工業 日本スピンドル 恒和ガッシュ 仝等	
アルミ製建具	仝 上	
ステンレス製建具		
シャッター	東洋シャッター、日本シャッター	

自動扉装置
煙感知器連動
閉鎖装置

建具金物

種別	材質仕上	メーカー又は商品名	備考
シリンダー箱錠	ステンレス	昭和金属 美和ロック ゴッド 又は仝等以上	張本島標品
箱錠その他錠	ステンレス	仝 上	〃
握玉	ステンレス	仝 上	〃
押板 握手			
取手 引手	ステンレス	ユニオン ニューター 又は仝等以上	〃
フロアーヒンジ			
ドアーチェック	アルミダイカスト	ニコーター ニッカナ 又は仝等以上	
ピボットヒンジ			
蝶番	ステンレス	昭和金属 ユニオン 又は仝等以上	

17. 木製建具工事

合板

使用ケ所	類別	等級
浴室及び階かり等	1	1
WC、湯沸、脱衣場	2	1
上記以外のケ所等	3	1

建具金物：建具金物は、16金属建具工事の建具金物にならい係員の指示による。
遮音：遮音表による

建具金物

戸棚類	
洋服入	

18. 硝子及びプラスチック工事

材種	メーカー			備考
板ガラス	日本板硝子	旭硝子	セントラル硝子	

延焼の恐れある部分は凡て網入ガラスとする

19. 塗装工事

材種	メーカー				備考
一般塗装	関西ペイント	大日本塗料	日本ペイント	東亜ペイント	神東塗料

塗装仕様

	コンクリート モルタル		鉄材		亜鉛鍍鉄		鋼製建具		石綿板 プラスターボード		木材			
	記号	No.	記号	No.	記号	No.	記号	No.	記号	No.	記号	No.	記号	No.
屋外	VE	1.	SOP	5	SOP	5	SOP	21.						
							SOP	21.						
屋内			SOP	15										

一註一記号は図面記入記号。No.は共通仕様書番号とする。

20. 内装工事

材名	品質寸法	メーカー又は商品名	備考
塗床 1.	カラークリート程度	ABC商会 仝等	
塗床 2	フールコート	日米レジン 協和商会 ABC商会	
塗床 3	仝上 砂粒状入(ノンスリップ)	仝 上	

接着材

21. 雑工事

材名	品質寸法	メーカー又は商品名	備考
室名札	アクリライト(発色物ステンレス)	IM接客工業 レイメイ 仝等	壁面埋込
スチール製ロッカー	(イトーキ HLY-050) 程度	イトーキ仝等(教育委員会と協議する)	
ネットフェンス	図示	川鉄建材 東洋 新日本製鋼 仝等	
フールド樹脂品	コース 水深表示等アクリライト類	協和商会 仝等	
コースロープ	合成チェック発泡浮防収縮	仝 上	25㎜巾
スノコ、ロッカー台	現場製作	図示	
消火器格納箱	(イトーキ HNG-33, HN-33, HB-33) 程度	イトーキ仝等(教育委員会と協議する)	
消火器簡易ボード	(イトーキ HB-17) 程度	仝上 (仝 上)	
スキーヒ棚	(イトーキ R-166L-LO) 程度 10個	仝上 (仝 上)	

22. 各設備工事業者指定

工事種別	指定業者名
電気設備工事	係員の承認する業者
給排水衛生設備工事	
冷暖房換気設備工事	
輸送機設備工事	

23. 備記

1. 総則

支給材：なし
発生材：発生材が生じた場合は速やかに調書を作成して係員の指示を受ける。
施工規準：本仕様書は日本建築家協会編建築工事共通仕様書（ 78年度版）及び設計図の特記仕様書でる。本工事は契約書に基き、A現場説明事項、B本仕様書、C設計図、D共通仕様書、E日本建築学会標準仕様書により施工する。各記載事項に相違ある場合はA、B、C、D、Eの順序とする。
現場代理人：現場代理人は建築士法による1級建築士で予め経歴書を提出して監理技師の承認を得ること。現場代理人は現場に常駐すること。
協力業者：協力業者の決定については予め協力業者名簿を係員に提出し、監理技師の承認を得ること。
標識：工事現場の入目に付きやすい処に建設省令及建設業法で定める標識と所定の大き、色調の"株式会社小河建築設計事務所"の標識及び所定の社名看板を掲げる。
工程表他：工事着手届及び工程表は契約後7日以内に各3通提出し、係員の承認を得る。工事中は係員の指示する報告書を提出する。なお作業時間休日等についても係員と打ち合せ承認を得ること。
写真

	種別	サイズ	ケ所数 部数	提出期日	備考	竣工写真撮影業者名
工程写真	モノクローム	手札型	監督指示 3	毎月末提出		
工程写真及び中間報告等の工事経過を作成したものを新たに1部アルバムとし竣工時に提出する事						
竣工写真	モノクローム カラー	キャビネ型 キャビネ型	監督指示 4 〃 4	竣工后2週間以内		建築写真専門者

火災保険：金額及び加名保険会社は係員の同意を要する。保険の掛金は請負者の負担とし受取人は建築主とする。
メーカー材料：本仕様にメーカー又は材料を指定してあるが、それ以外のメーカー材料の使用については、変更願書（理由書、カタログ経歴書等）を係員に提出する。検討の結果係員が全等以上と認めた場合に限り、そのメーカー、又は材料を使用することができる。
試験：所轄官庁の要求する材料試験データーに関するすべての供試体を提出する。
試験供試体：竣工済調書：工事完了届けは竣工時3通提出する。止むを得ず工期内に工事が完成しない時はその未済部分を係員立会の上、調書3通を作成して遅延理由書をつけて提出する。
竣工後の検査：尚、未済事項は指定の期日迄に遅滞なく完成させ、係員の検査を受ける。
~~申請手続~~：契約々款カシ担保期間内の時期（竣工後1年前後）に当物件の立会検査を行う。問題が生じている場合は協議の上処置すること。
下記申請関係手数料は業者負担とする。

申請種別	算定規準	金額	備考
確認申請代理業務	建築士会申請報酬規程による（証紙代共）		

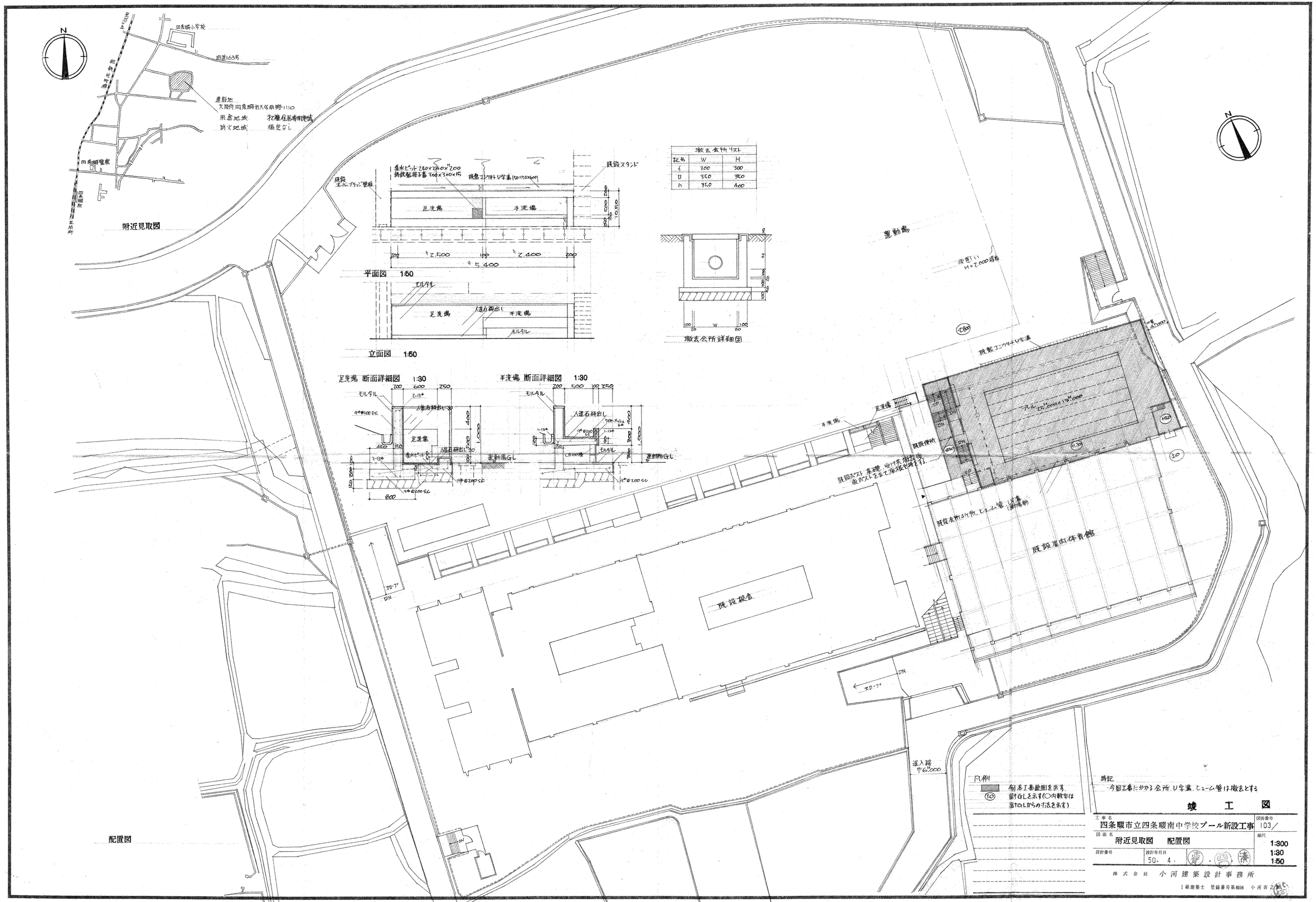
竣工図：竣工図は下記内容とし製本及びマイクロフィルムはマルワ写真工業㈱ TEL06−538−3995に発注の上事務所の規格に合致するものを提出する。

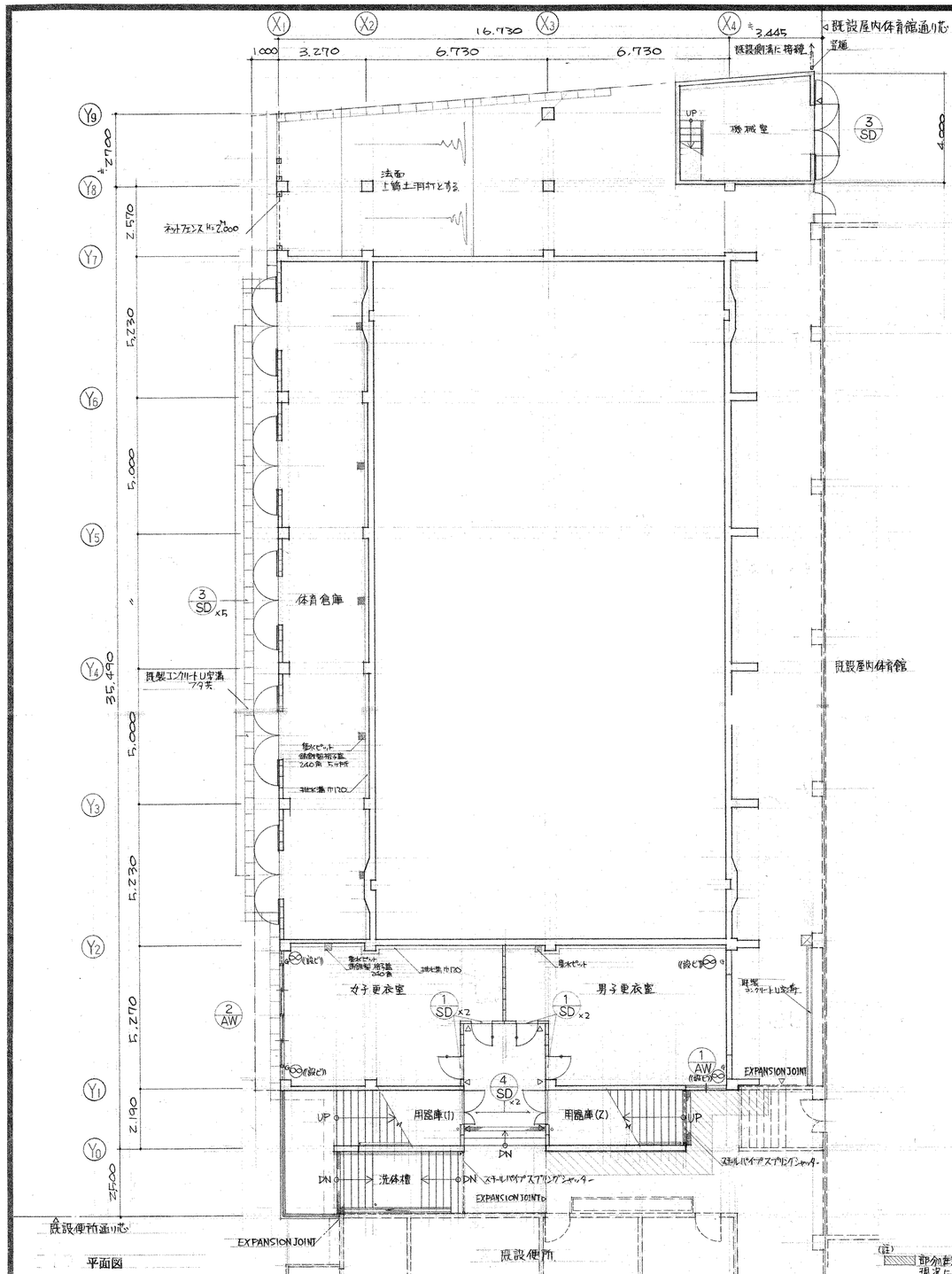
	内容	製本	マイクロフィルム	提出期日
建築意匠図	配置・平面・立面・断面・仕上・矩計 一式	3部	1セット	竣工後 14日迄
構造図	一式			
設備図	一式			

竣工図

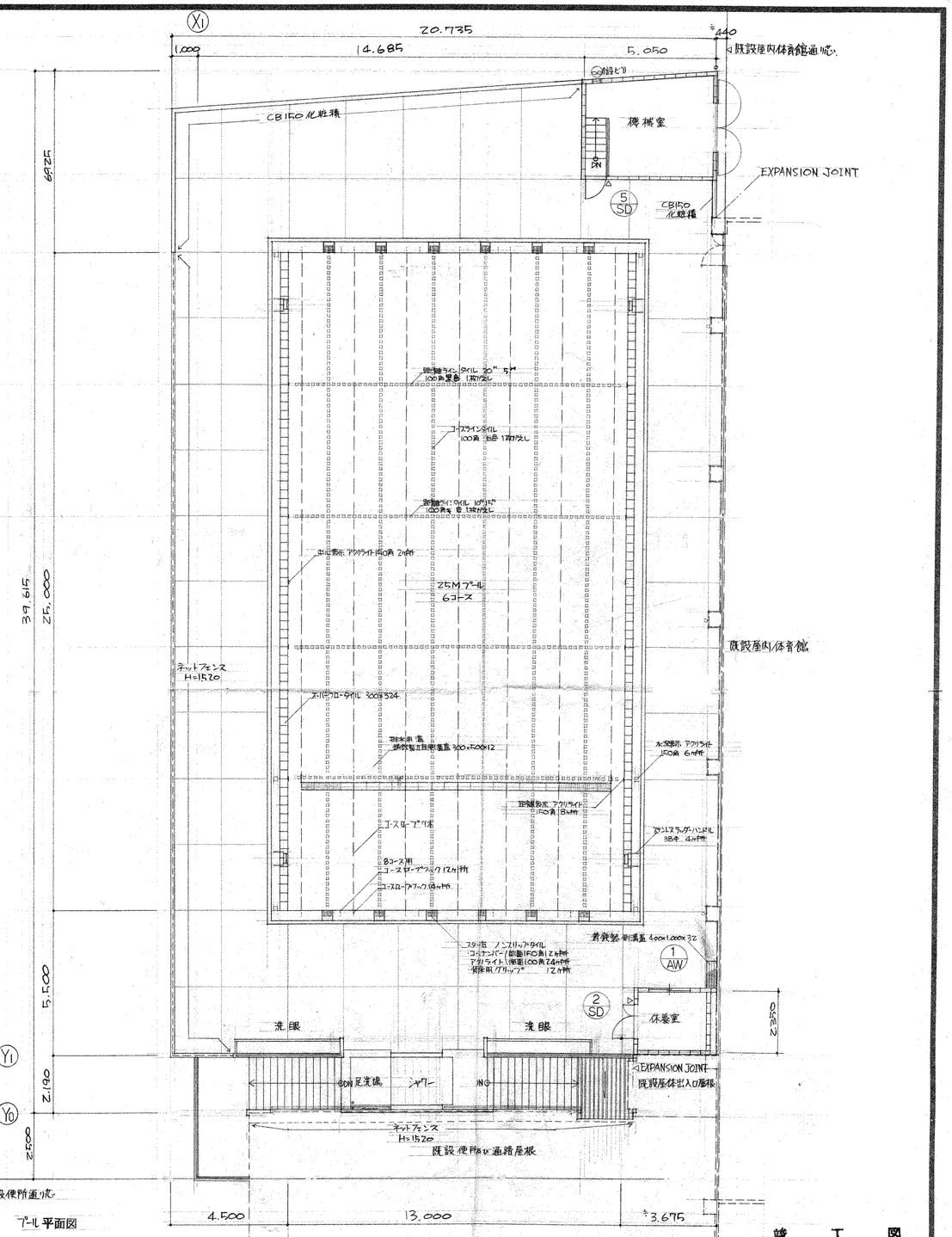
工事名：四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号：102/
図面名：建築工事特記仕様書
縮尺：
設計番号：
設計年月日：50. 4.

株式会社 小河建築設計事務所
1級建築士 登録番号第8016 小河吉之


附近見取図
四条畷小学校
国道163号
建設地
大阪府四条畷市大字砂野1110
用途地域 市街化区域専用地域
防火地域 指定なし
四条畷駅
平面図 1:50
立面図 1:50
足洗場 断面詳細図 1:30
手洗場 断面詳細図 1:30
撤去公所詳細図
撤去公所リスト
記号 W H
イ 700 700
ロ 350 350
ハ 350 400
運動場
既設倉庫
既設屋内体育館
既設便所
配置図
凡例
今回工事範囲を示す
設計GLを示す(()内数字は設計GLからの寸法を示す)
備考
・今回工事にかかる公所、U字溝、ヒューム管は撤去とする
竣工図
工事名 四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号 103/
図面名 附近見取図 配置図
縮尺 1:300 1:30 1:50
設計番号
設計年月日 50. 4.
株式会社 小河建築設計事務所
1級建築士 登録番号第8016 小河吉之



平面図



プール平面図

(注) 部分撤去 舗床・壁線等は撤去後現況に復旧の事

凡例

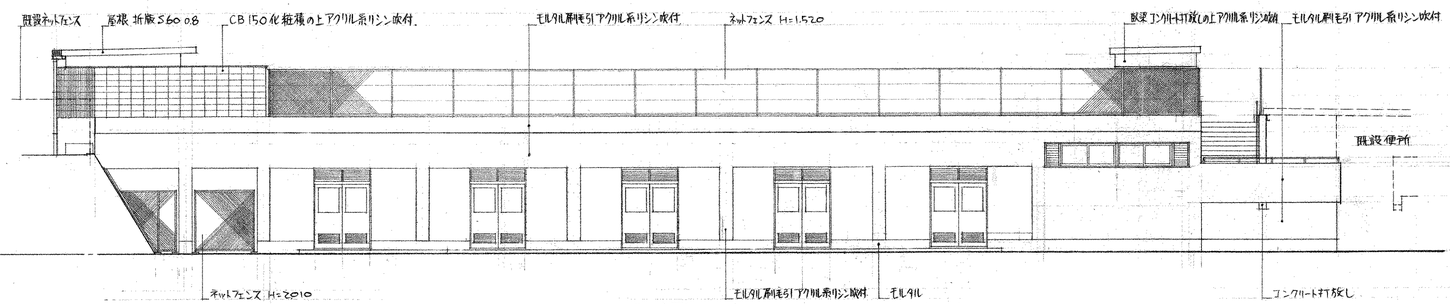
	鉄筋鉄骨コンクリート及び鉄筋コンクリート		固定スクリーン		両開き扉		伸縮間仕切		両開窓		暗幕BOX		室名札		ルーフドレン	CH	煙突		会所		
	軽量気泡コンクリート板		可動スクリーン		片開き扉		両引戸 (袖壁内)		竪軸回転窓		ブラインドBOX		非常用進入口		竪樋	DC	ダストシュート		排水管		
	ブロック壁				自由扉		引違い戸		縦横辷り出回転窓 横軸突き出し		カーテンBOX		防垂れ壁		パラペットリング	EV	エレベーター		P一陶管		
	軽量下地鉄骨壁						開戸		上げ下げ窓		手動シャッター		SFD		甲種防火戸		階数表示板		VP一ビニール管		
	木造壁	G.L	設計地盤		ドアーチェック付		片引戸		引違窓		電動シャッター				煙感知器連動扉		吸水マット		HP一ヒューム管		
	木造真壁		境界		自動開閉扉		網戸		格子		グリルシャッター		マンホール		分電盤	ES	電気シャッター				
	木造大壁		建物出入口	FH	フロアーヒンジ		らんま		ガラリ		軽量シャッター		換気扇		消火栓	《 》	別途工事				

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	104/
図面名	平面図
設計番号	
設計年月日	50. 4.
縮尺	1:100

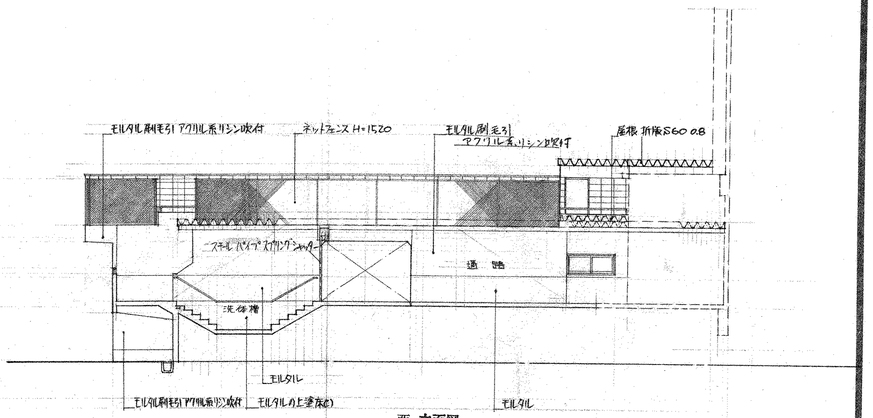
竣工図

株式会社 小河建築設計事務所

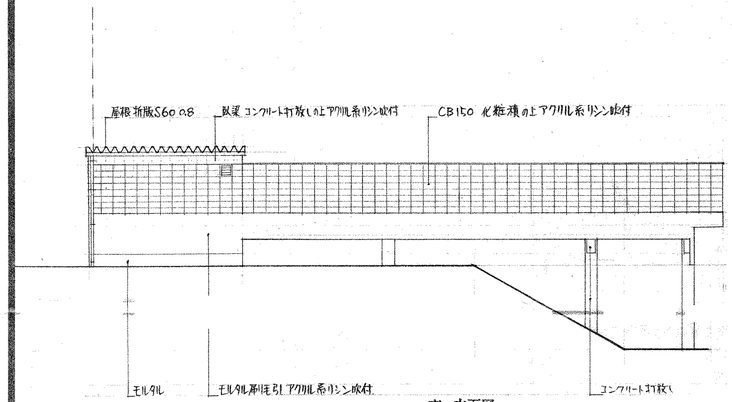
一級建築士 登録番号第8016 小河直文



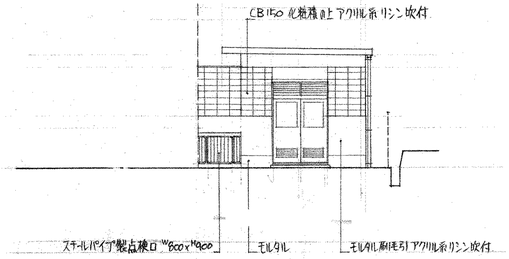
北 立面図



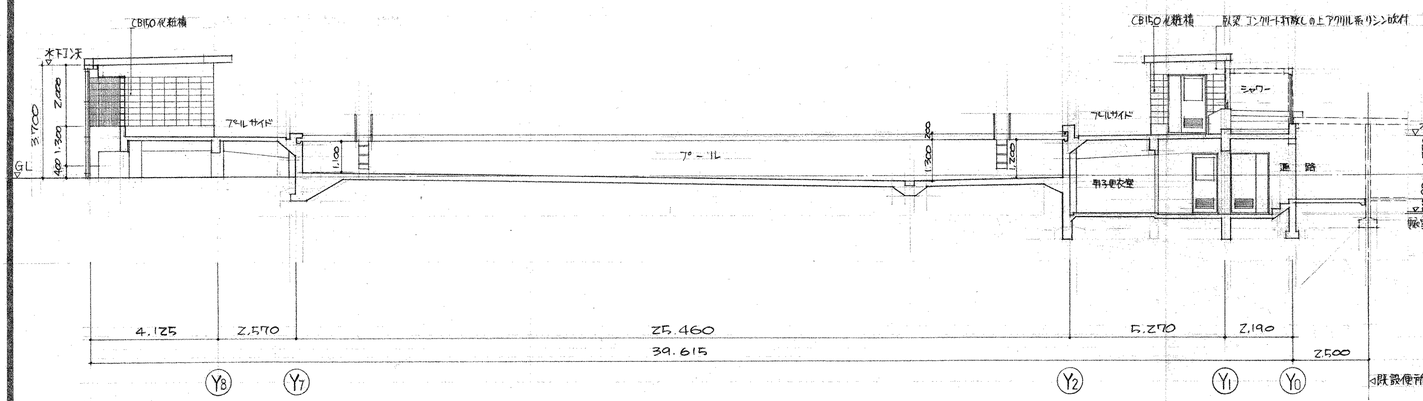
西 立面図



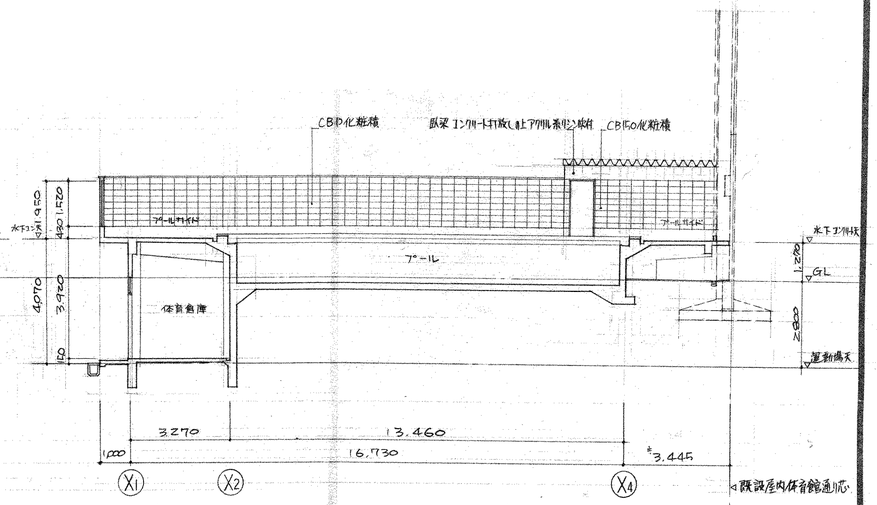
東 立面図



南 立面図



断面図



断面図

凡例

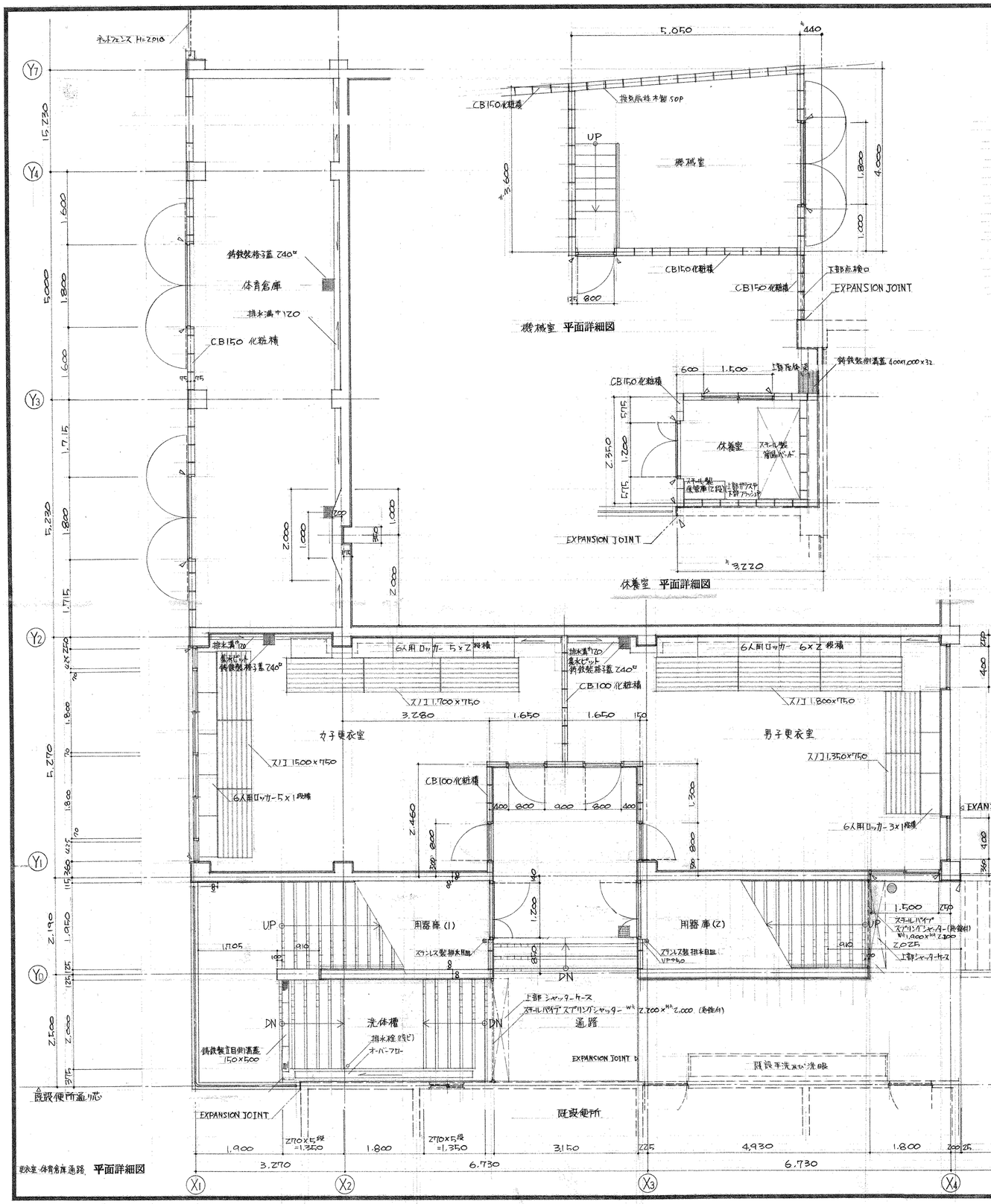
	鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート		固定スクリーン		両開き扉		伸縮間仕切		両開窓		暗幕BOX		室名札		ルーフドレン	CH	煙突		会所		
	軽量気泡コンクリート板		可動スクリーン		片開き扉		風引戸(引違い)		鎧戸回転窓		ブラインドBOX		非常用進入口		竪樋	DC	ダクトシュート		揚水管		
	ブロック壁				自由扉		引違い戸		嵌殺し(引出回転窓)横軸突き出し		カーテンBOX		防煙たれ壁		パラペットリング	EV	エレベーター		P一陶管	径及材種は記入する事	
	軽量下地鉄骨壁						開戸		上げ下げ窓		手動シャッター		SFD		階数表示板	DS	ダクトベース		VP一ビニール管		
	木造壁	G.L	設計地盤		ドアーチェック付		片引戸		引違窓		電動シャッター		煙感知器連動扉		畳敷マット	PS	パイプシャフト		HP一ヒューム管		
	木造真壁		境界		自動		自動開閉扉		格子		グリルシャッター		マンホール		分電盤	ES	電気シャフト				
	木造大壁		建物出入口		FH		フロアーヒンジ		ガラリ		軽量シャッター		換気扇		消火栓	《 》	別途工事				

竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	105
図面名	立面図 断面図
縮尺	1:100
設計番号	
設計年月日	50. 4.

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉之助

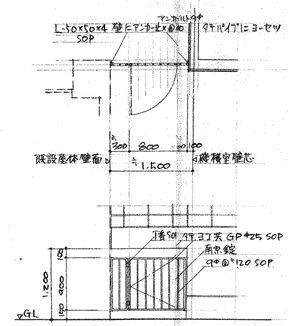


内部 仕上表

室名	床	巾木	腰	壁	天井	備考
男女更衣室	モルタルの上	モルタルVE		モルタルVE	ベニヤ仮枠コンクリート打放し	スリコ、スチール製ロッカー、換気扇(浴室C)
	塗床(1)	H=100				鋳鉄製格子蓋 240□
通路	モルタル		モルタル	モルタルVE	ベニヤ仮枠コンクリート打放し	
	塗床(1) 1部段鼻タイル				一部折版SOP塗装	
用具庫1.2	モルタル			ベニヤ仮枠コンクリート打放し	ベニヤ仮枠コンクリート打放し	ステンレス排水目皿 φ150
体育器具庫	モルタル目地切		ベニヤ仮枠コンクリート打放し	ベニヤ仮枠コンクリート打放し	ベニヤ仮枠コンクリート打放し	鋳鉄製格子蓋 240□
休養室	防水モルタルの上		ベニヤ仮枠コンクリート打放し	CB150面面化粧積	折板S-60 0.8片面カラー	スチール製保管庫、スチール製簡易ベッド
	塗床(1)				フェルトン10mm 工場貼	
機械室	防水モルタル		モルタル	CB150面面化粧積	折板S-60 0.8面面カラー	手摺
	段鼻ジキノンスリップタイル					
プール本体	モルタル防水の上		モルタル防水の上			排水会所鋳鉄製側溝蓋 背泳用グリップ
	塗床(2)		塗床(2)			タラップ、コースラインタイル、ちびラインタイル、コースロープ
プールサイド	モルタル防水 目地切の上					アクリライト コースナンバー、アクリライト水深標示
	塗床(3)					アクリライト距離表示、ネットフェンス 光線
足洗場シャワー	モルタル防水の上					
	塗床(3)					
洗体槽	防水モルタル 塗床(3)		防水モルタル			鋳鉄製側溝蓋
	段鼻ジキノンスリップタイル		塗床(2)			スチールパイプスプリングシャッター
階段	モルタル防水の上		モルタル	モルタルVE		手摺 スチールパイプスプリングシャッター
	塗床(3) 段鼻ジキノンスリップタイル					

外部 仕上表

外壁	本体	モルタル刷毛引 アクリル系リシン吹付、一部CB150化粧積の上アクリル系リシン吹付、一部モルタルVE、ネットフェンス H=1,520、H=2010.
〃	体育倉庫	CB150化粧積
〃	機械室	〃 一部CB化粧積の上アクリル系リシン吹付、一部モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付 竪樋：硬質塩ビ管 φ75 SOP、つかみ金物 @1,200程度
階		モルタル

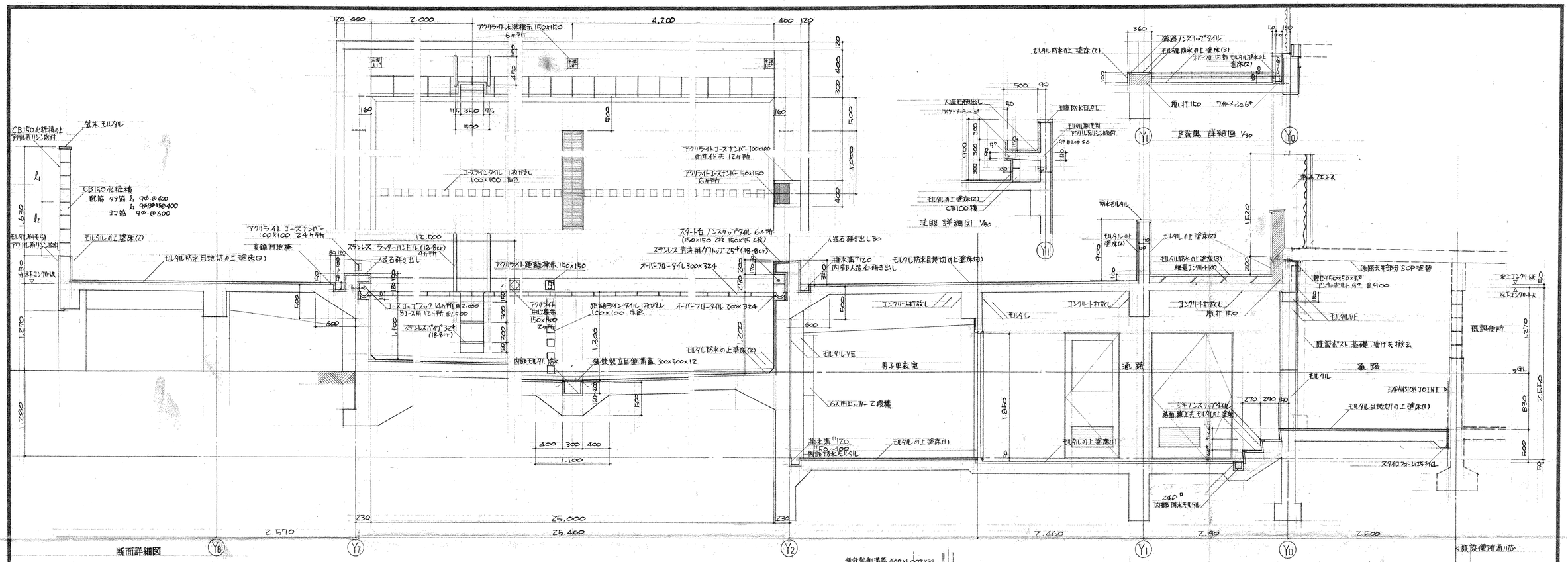


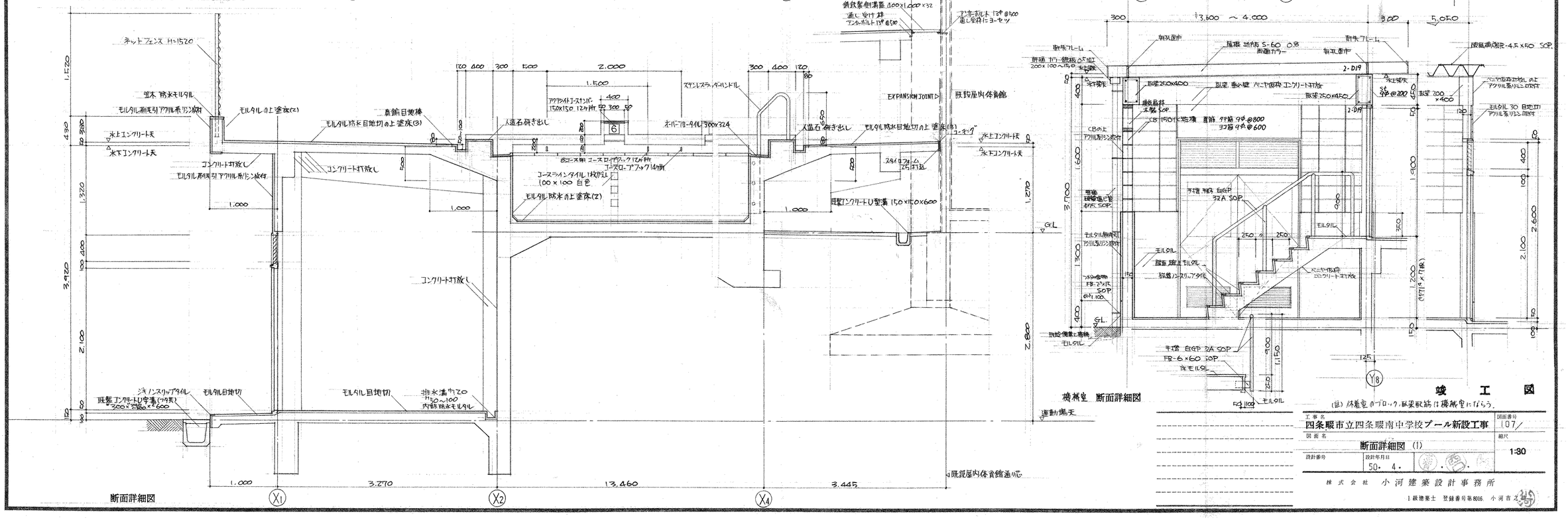
(注)
新設工事伴う既設建物の破壊等については全て現況に復旧の事。
プロパン通管については別途工作製し、係員の承認を得て施工(開口数量は図示なくとも φ100程度のモルタルボックスを塗る事)

竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	106
図面名	仕上表 平面詳細図
縮尺	1:50
設計番号	
設計年月日	50・4・

株式会社 小河建築設計事務所
一級建築士 登録番号第8016 小河吉之





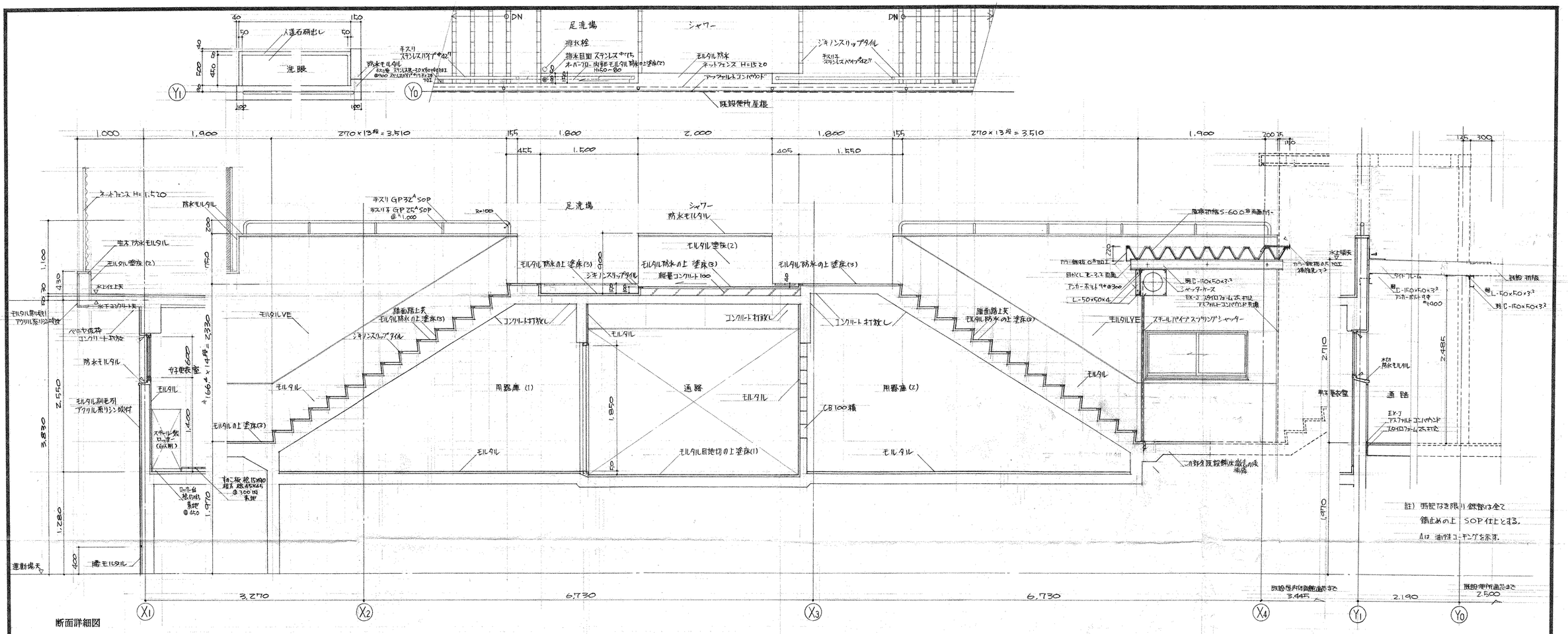
竣工図

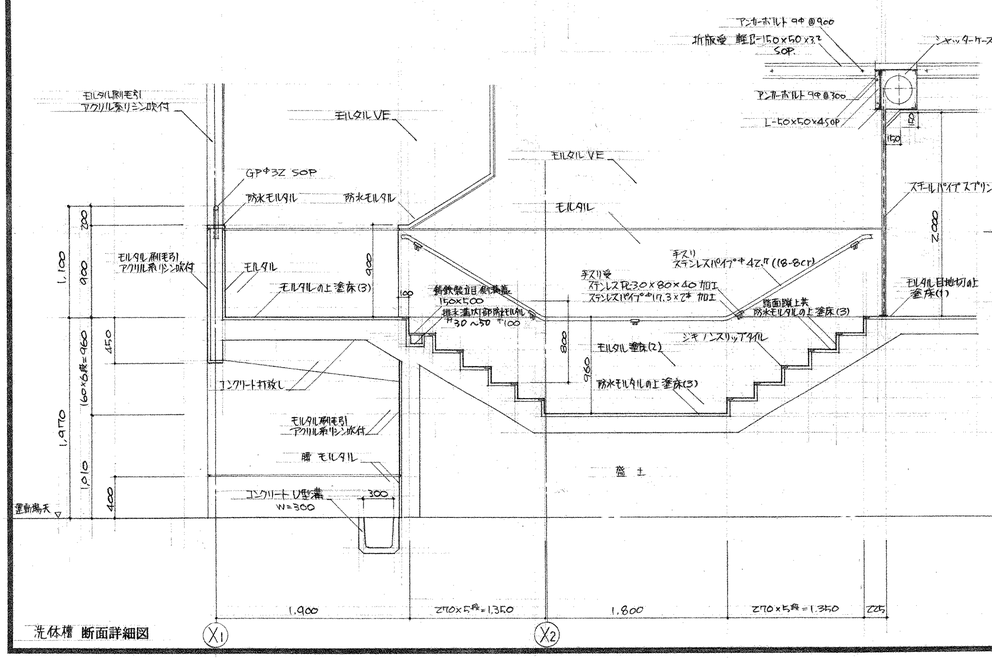
(注) 機械室のブロック、梁筋は機械室にならう。

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	107
図面名	断面詳細図 (1)
縮尺	1:30
設計番号	
設計年月日	50. 4.

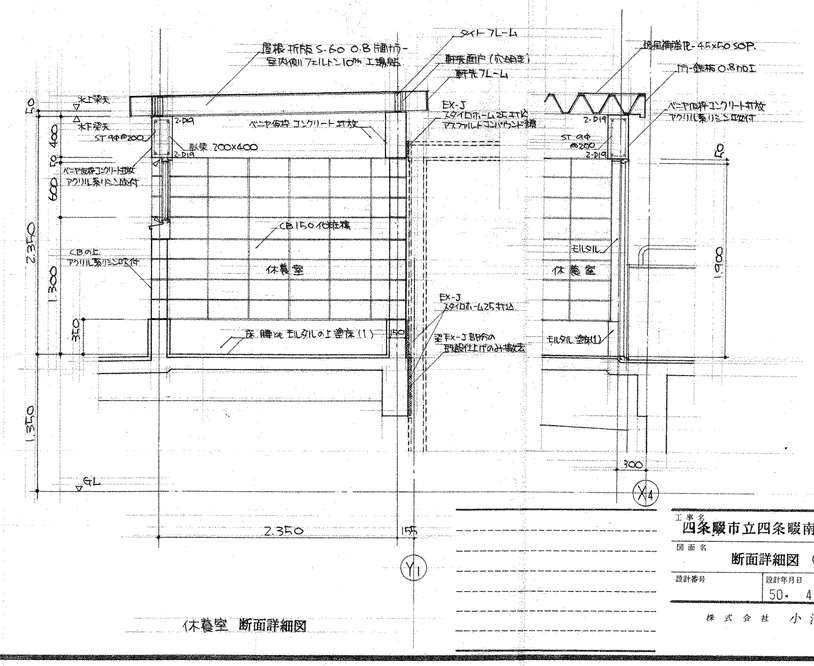
株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉之





洗体槽 断面詳細図



休養室 断面詳細図

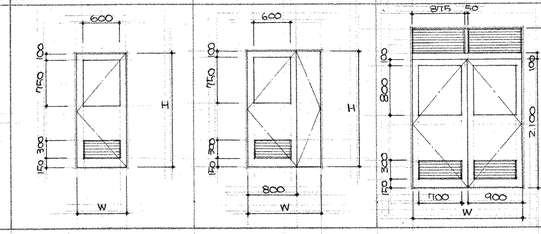
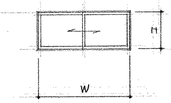
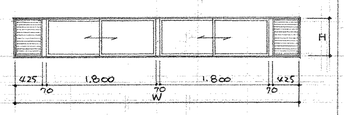
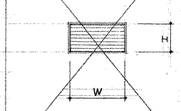
竣 工 図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	108
図面名	断面詳細図 (2)
縮尺	1:30
設計番号	
設計年月日	50・4・

株式会社 小河建築設計事務所

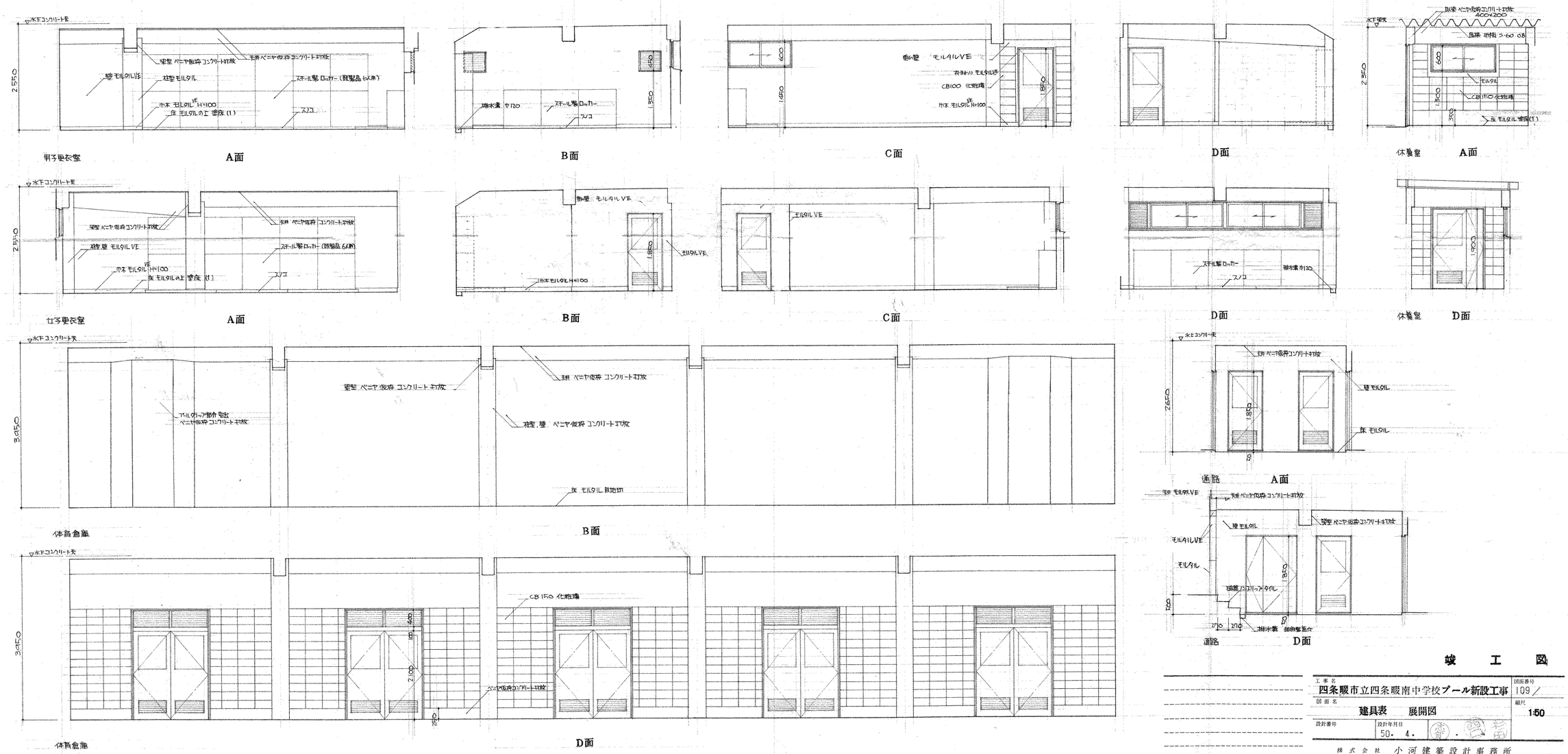
1級建築士 登録番号第8016 小河吉之助

建具表

記号	位置数量	1 SD 4 男子更衣室 女子更衣室	2 SD 1 休養室	3 SD 6 体育倉庫 機械室	4 SD 2 照明室(1)(2)	5 SD 1 機械室		1 AW 2 男子更衣室 休養室		2 AW 1 女子更衣室	1 SG 2 男子更衣室
型式		片開 スチールフラッシュドア	親子開 スチールフラッシュドア	両開 スチールフラッシュドア(ガラリ付)	親子開 スチールフラッシュドア	片開 スチールフラッシュドア		アルミ 引違い窓		アルミ 両側引違い 中央ガラリ 連窓	スチール 固定ガラリ
内法寸法(W×H) 見込		800×1,850 額40 枠86	1,200×1,900 額40 枠86	1,800×2,600 額40 枠86	1,200×1,850 額40 枠86	800×1,900 額40 枠86		1,500×600 60		4,660×600 60	900×450 38
仕上	硝子	SOP / 網入型板 6.8	SOP / 網入型板 6.8	SOP / 網入型板 6.8	SOP	SOP		アルミ / 網入型板 6.8		アルミ / 網入型板 6.8	SOP
	召物 ガラリ	ステンレス ペアーライン / スチール SOP	ステンレス ペアーライン / スチール SOP	ステンレス ペアーライン / スチール SOP	ステンレス ペアーライン / スチール SOP	ステンレス ペアーライン				アルミ	
施錠方法		モノロック(握りシリンダー) 握玉	モノロック(握りシリンダー) 握玉	シリンダー錠(握りシリンダー) 握玉	シリンダー錠(握りシリンダー) 握玉	シリンダー錠(握りシリンダー) 握玉		クレセント、引手		クレセント、引手	
附属金物		ピボットヒンジ、ドアチェック	丁番、フランス落し、ドアチェック	丁番、フランス落し、ドアはい	ピボットヒンジ、フランス落し、ドアはい	丁番、ドアはい		その他所要金物一式		その他所要金物一式	
備考										ガラリにはステンレス防虫網取付	ステンレス防虫網取付
姿図											

特記事項

- クレセントはステンレス製とする。
- 握玉はステンレスペアーライン仕上とする。
- 建具金物は全て見本品提出の上、係員の承認後取付とする。
- 建具寸法は記入あるも、現場採寸の後、制作する事。
- マスターキーは3個とする。
- バックセットは64とする。
- ドアチェックは90°ストップ付とする。
- ガラリにはステンレス防虫網取付とする。
- 笠塗のおそれある部分の開口は全て網入とし、ガラリはファイアーダンパー付とする。



竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	109
図面名	建具表 展開図
縮尺	1:50
設計番号	
設計年月日	50. 4.

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉之助

共通事項

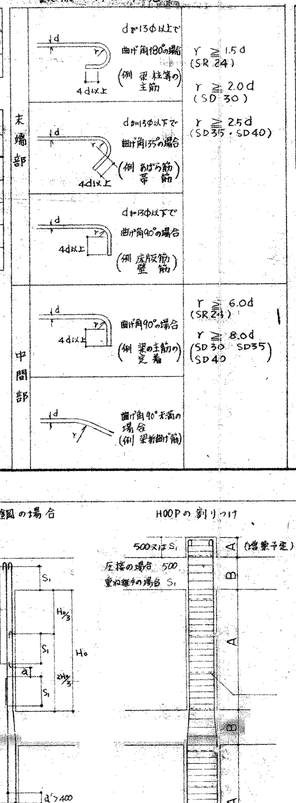
鉄筋の断面表示

記号								
普通丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形丸鋼	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

重ね継手及定着長さ

鉄筋の種別			フックの有無	S1 引張鉄筋	S2 圧縮鉄筋
普通コンクリート	丸鋼	SR-24	有	40 d	30 d
	異形丸鋼	SD-30	有	35 d	20 d
		SD-35	無	50 d	30 d
		SD-40	有	40 d	25 d
			無	60 d	35 d

鉄筋の折曲げ規準



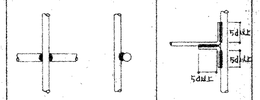
かぶり厚さ

	一般の場合	打放しコンクリートで外側に面する部分
底版筋・壁筋	2 cm 以上	4 cm 以上
耐力壁	3 cm 以上	5 cm 以上
柱・梁	4 cm 以上 コンクリートにバラ出し高さ3cm	5 cm 以上
土に接する部分 壁	4 cm 以上	
柱・梁	5 cm 以上	
基礎	6 cm 以上	

電気溶接(鉄筋の溶接)

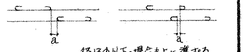
	A	B
d mm	19φ以下	25φ以下
l mm	50	65	100	125

交叉する場合　直角に交わる場合



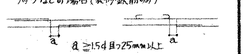
相隣る鉄筋間隔及継手の位置

フック付の場合



径15φ以下の場合も上に準ずる

フックなしの場合(異形鉄筋のみ)



圧接の場合

異形鉄筋の定着及継手部にフックを設ける個所

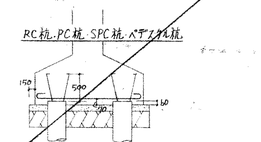
1. 柱の四隅及柱壁の出隅にある主筋、柱筋の最上端
2. 梁(地中梁は除く)の出隅にある主筋
3. 壁の出隅に沿った鉄筋
4. 煙突の主筋
5. 片持梁主筋の先端部

(注) ※印鉄筋はフック付鉄筋

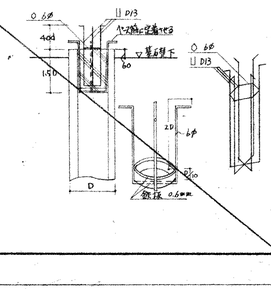
~~杭仕様~~

1 杭種
2 杭径
3 杭長 l=
4 杭耐力 t/本 (長期)
5 試験杭 ㊞印
6 継手
7 杭本数
8 杭工法
9 載荷試験 ヶ所とし、試験方法は特記による

~~杭頭の処理~~



杭打設終了後、コンクリートを所り鉄筋を伸しておく

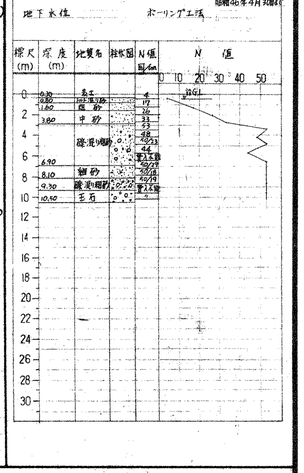


構造一般適用事項

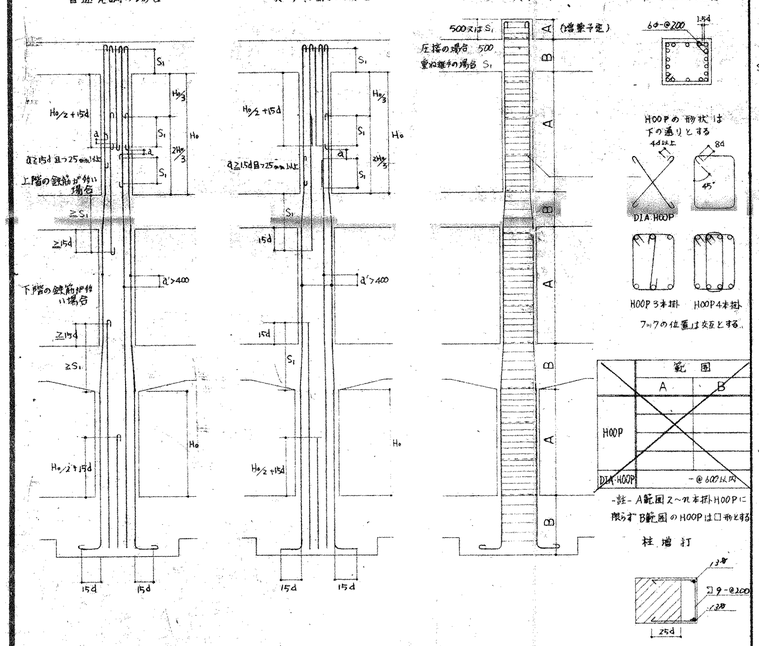
1 鉄筋 SD30 規格品 (柱・梁・壁・基礎・開口部補強) SR24 規格品(その他)
~~2 鋼材~~
3 コンクリート Fc=180 kg/cm²
4 鉄筋継手 重ね継手
5 地業 地中梁下 ― 捨コンクリート @50 敷砂利 @50
基礎・ピット下 ― 捨コンクリート @50 割栗石 @50
6 設計地耐力 20 t/m² (長期)
~~7 高力ボルト~~ F T
~~平板ボルト~~ 中ろ板
~~8 リベット~~ SV41規格品
9 工間 Fc=135 kg/cm² 版厚 15p 配筋 9φ@200ダブル
~~10 地耐力試験~~ ヶ所とし、試験方法は特記による

土質柱状断面図

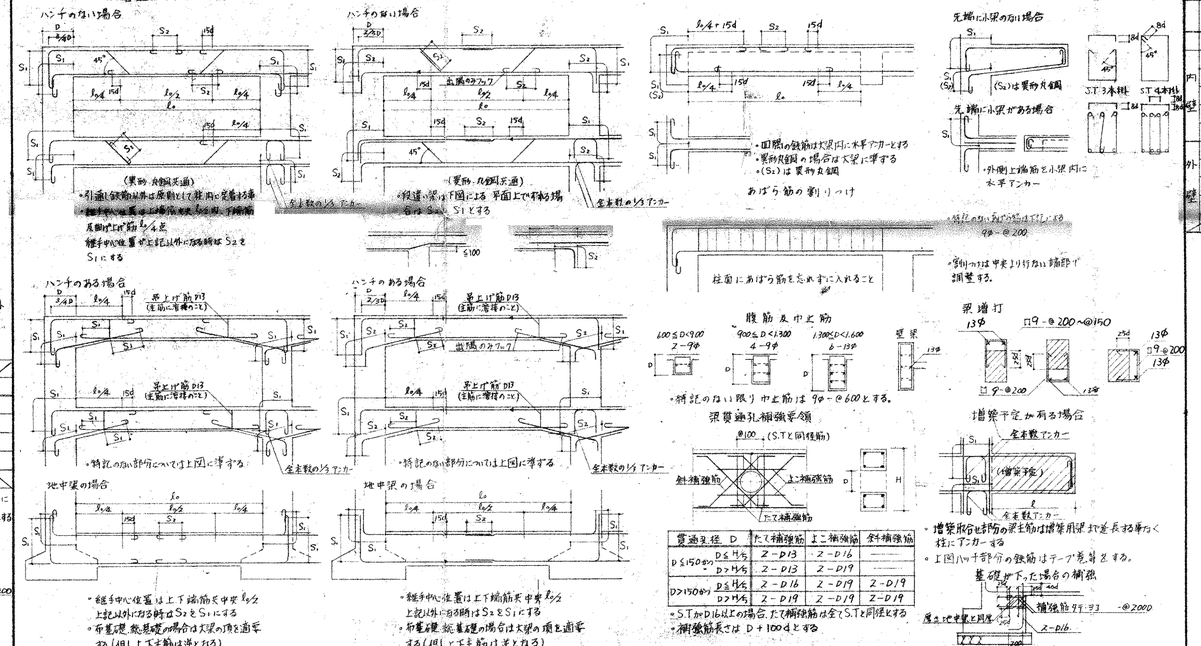
調査地 四条畷市立南中学校敷地内 調査年月日 昭和46年4月25日〜昭和46年4月30日
地下水位 ボーリング工場



柱



梁



壁 (壁式構造.耐震壁.地下外壁は別図による)

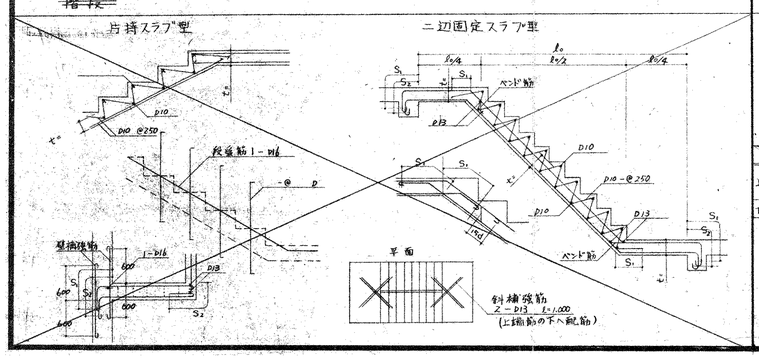
配筋及開口部補強筋は特記なき限り下記による

壁厚	記号	配筋 タテ筋	配筋 ヨコ筋	開口部補強筋 l<1.0	開口部補強筋 l>1.0	全体補強筋
100	―	9φ-@200	9φ-@200	1-D16	1-D16	1-D13
120	----	9φ-@200	9φ-@200	1-D16	1-D16	1-D13
150	┌	9φ-@300D	9φ-@300D	2-D13	2-D13	2-D13
180	═	9φ-@200D	9φ-@200D	2-D13	2-D16	2-D13
200	====	9φ-@200D	9φ-@200D	2-D16	2-D16	2-D16
250	▬	9φ-@200D	9φ-@200D	2-D16	2-D16	2-D16
120	----	D10-@200	D10-@200	1-D16	1-D16	1-D13
150	──	D10-@300D	D10-@250D	2-D13	2-D13	2-D13
180	═	D10-@200D	D10-@200D	2-D13	2-D16	2-D13
200	====	D10-@200D	D10-@200D	2-D16	2-D16	2-D16
250	▬	D10-@200D	D10-@200D	2-D16	2-D16	2-D16

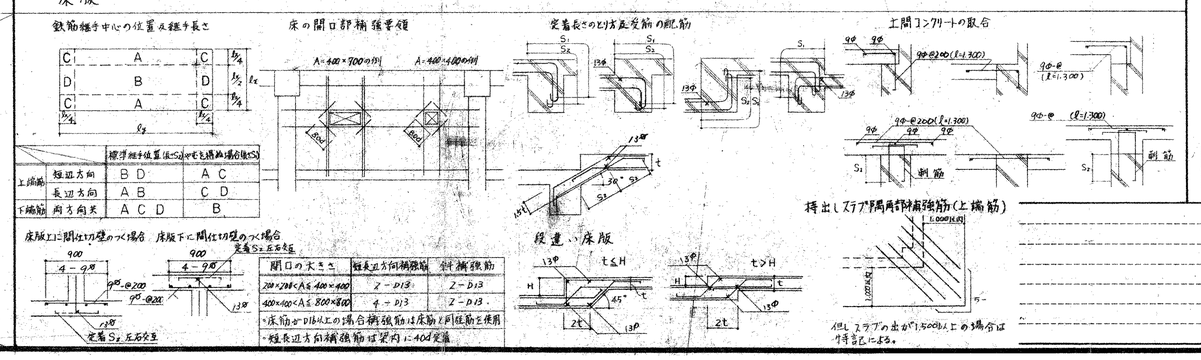
外壁 / 内壁

-註- 耐震壁及地下外壁配筋はその上記による。

~~階段~~



床版



	上端筋	下端筋
短辺方向	B D	A C
長辺方向	A B	C D
両方向共	A C D	B

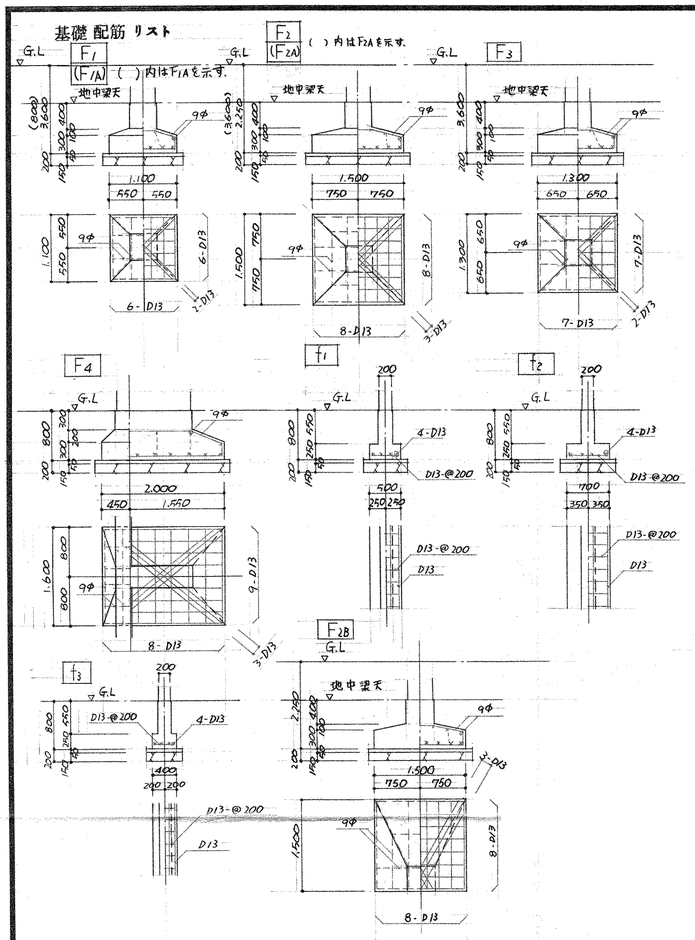
(標準継手位置(床-5)や巾を満足する場合)

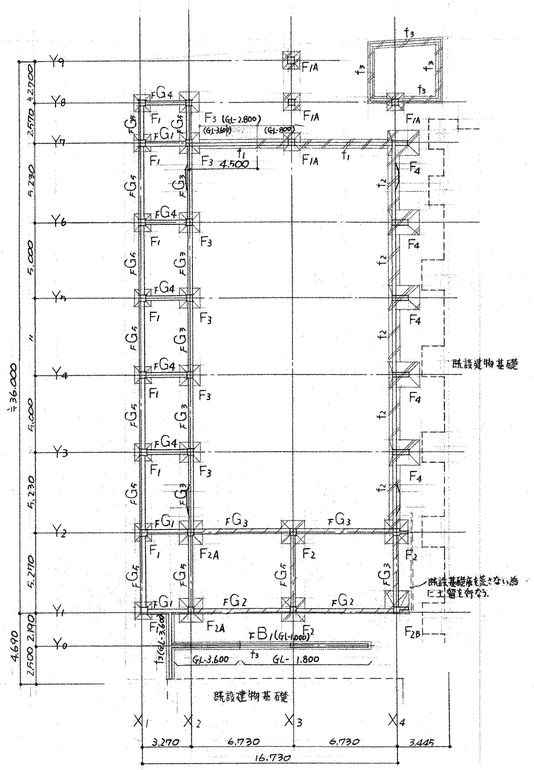
工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事	図面番号 201
図面名	配筋標準図	縮尺
設計番号	設計年月日	

株式会社 小河建築設計事務所

一級建築士 登録番号第8016 小河吉之助

基礎配筋リスト

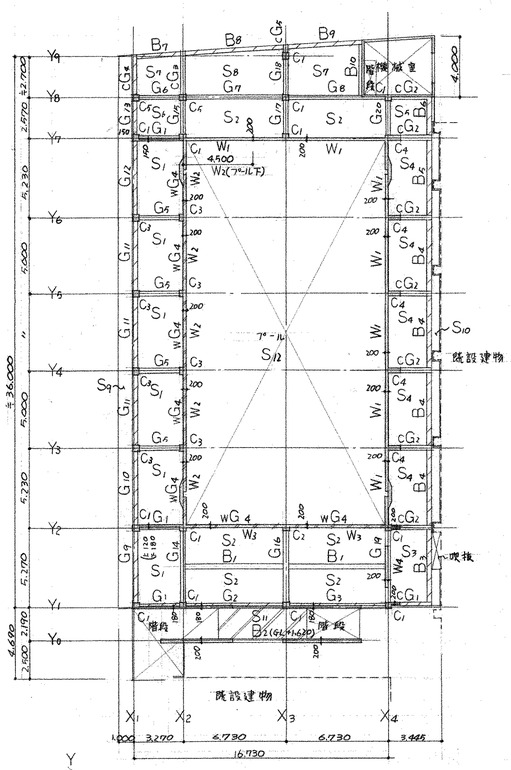




基礎及地中梁伏図

1) 地中梁天　基礎底
一般 → GL-2.800 → GL-3.600
GL-1.450 → GL-2.250
→ GL-800

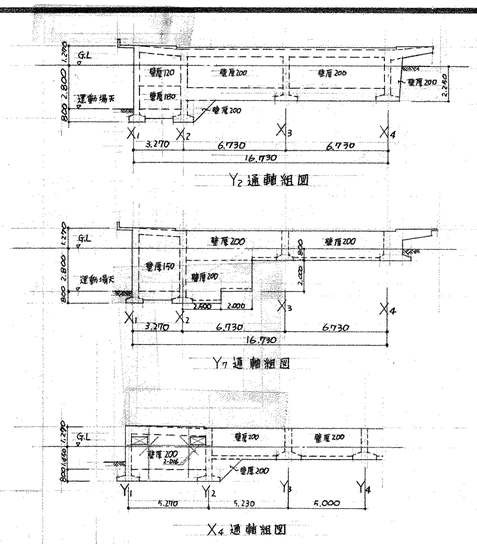
2) ( ) 内は地中梁天及基礎底を示す。



屋階床伏図

1) 壁厚は120とする。
2) 梁天端は下記による。
一般 GL+1.300 ~ GL+1.070
GL+1.300
GL+1.070

3) 床コンは下記による。
一般 GL+1.320 ~ GL+1.270 (勾配スラブ)
GL+1.320
S12 は GL-130 ~ GL-30 (勾配スラブ)



柱配筋リスト

(註) 特記なき限り下記による。
HOOP 9φ-@100 (梁面内 9φ-@150)
DIA 9φ-@600

記号	C1	C2	C3	C4	C5
1階断面					
断面寸法(b×D)	400×400	400×400	400×400	1,200×300	400×500
主筋	8-D22	10-D22	10-D22	12-D22	10-D22
HOOP					
DIA					

大梁及地中梁配筋リスト

(註) 特記なき限り下記による。
腹筋 2-9φ
S.T 9φ-@200
中間切上筋 9φ-@600~500

記号	G1	G2,3		wG4	G5		G6		
位置	全断面	両端	中央	全断面	両端	中央	外端	中央	内端
屋階断面									
断面寸法	300×400	350×500		200×600	300×400		300×400		
上筋	3-D22	4-D22	2-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22	4-D22
下筋	3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22
腹筋				4-13φ					
ST		9φ-@175		13φ-@200					

記号	G7,8			G9~12		G14			G15		
位置	X2,4端	中央	X3端	両端	中央	外端	中央	内端	Y7端	中央	Y8端
屋階断面											
断面寸法	350×500			300×500		350×500			350×500	350×675	350×850
上筋	4-D22	2-D22	5-D22	3-D22	2-D22	4-D22	3-D22	7-D22	4-D22	3-D22	6-D22
下筋	2-D22	4-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22
腹筋											
ST		9φ-@175					9φ-@175			9φ-@175	

記号	G16		G17,18,20		G19
位置	両端	中央	両端	中央	全断面
屋階断面					
断面寸法	400×500		300×400		300×500
上筋	6-D22	6-D22	3-D22	2-D22	3-D22
下筋	4-D22	7-D22	2-D22	3-D22	3-D22
腹筋					
ST	9φ-@150				

記号	cG1		cG2		cG3		cG5	G13			cG4	
位置	内端	先端	内端	先端	内端	先端	全断面	Y7端	中央	Y8端	内端	先端
屋階断面												
断面寸法	250×700	250×500	300×700	300×500	350×850	350×500	300×500	300×500	300×625	300×850	300×850	300×500
上筋	5-D22	3-D22	6-D22	3-D22	8-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22
下筋	2-D22	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
腹筋												
ST					9φ-@175							

記号	FG1	FG2,5	FG4		FG3	FB1
位置	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
断面						
断面寸法	300×600	300×800	300×600		300×800	200×800
上筋	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22
下筋	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22
腹筋					4-13φ	
ST						

竣工図

工事名 四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事　図面番号 202/

図面名 軸組図、基礎&地中梁・屋階伏図、基礎・柱・大梁・地中梁配筋リスト　縮尺 1:200 / 1:50

設計番号　設計年月日 . .

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉之

小梁 配筋リスト

一註＝特記なき限り下記によること

St　9φ@200
中廻巾止筋　9φ-@600～500

記号	B1			B2	B3～6		B7,9			B8		B10
位置	外端	中央	内端	全断面	両端	中央	外端	中央	内端	両端	中央	全断面
断面												
断面寸法	350×500			200×400	300×400		300×500			300×500		300×500
上筋	4-D22	4-D22	7-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	3-D22
下筋	3-D22	7-D22	5-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	4-D22	3-D22
腹筋												
ST	9φ-@175											

床版配筋リスト

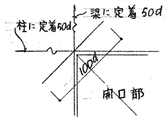
記号	厚	位置	短辺方向 柱間帯 端部	短辺方向 柱間帯 中央	短辺方向 柱列帯	長辺方向 柱間帯 端部	長辺方向 柱間帯 中央	長辺方向 柱列帯	備考
S1,2,4,8	120	上筋	9φ 13φ交互@200	9φ-@400	9φ-@200	9φ 13φ交互@250	9φ-@500	9φ-@250	
		下筋	9φ-@400	9φ 13φ交互@200	9φ-@200	9φ-@500	9φ 13φ交互@250	9φ-@250	
S3	120	上筋	9φ 13φ交互@150			9φ 13φ交互@200			
		下筋	9φ 13φ交互@150			9φ 13φ交互@200			
S5～7	120	上筋	9φ 13φ交互-@200	9φ-@400	9φ-@200	9φ 13φ交互@200	9φ-@400	9φ-@200	
		下筋	9φ-@400	9φ 13φ交互@200	9φ-@200	9φ-@400	9φ 13φ交互-@200	9φ-@200	
S9	150	上筋	13φ-@150			9φ-@250			片持スラブ
		下筋	13φ-@150			9φ-@250			
S10	120	上筋	9φ 13φ交互@200			9φ-@200			片持スラブ
		下筋	9φ 13φ交互@200			9φ-@200			
S11	120	上筋	9φ 13φ交互-@200			9φ-@200			
		下筋	9φ 13φ交互@200			9φ-@200			
S12	200	上筋	13φ-@200			13φ-@200			テラス屋根版
		下筋	13φ-@200			13φ-@200			

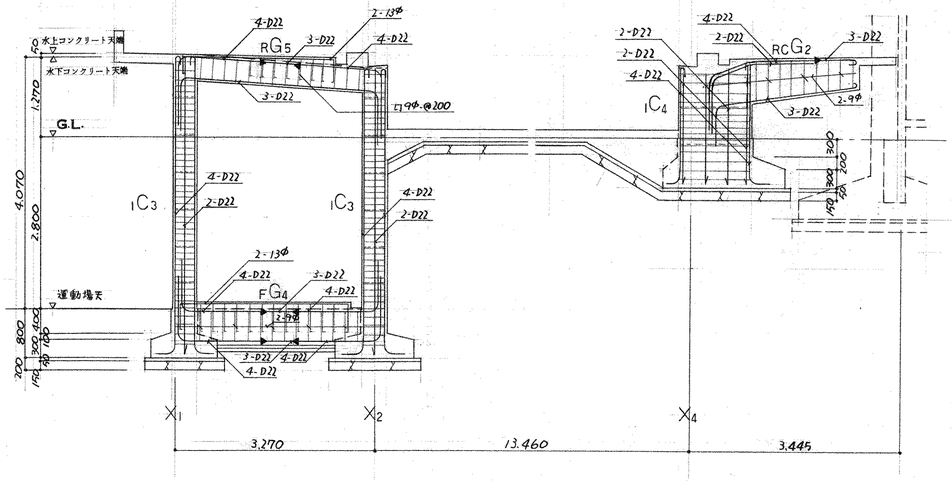
壁配筋リスト

止筋　9φ-@1,000～900

壁厚		120	150	180	200
断面					
タテ筋		9φ-@200 S	9φ-@300 D	9φ-@200 D	9φ-@200 D
ヨコ筋		9φ-@200 S	9φ-@300 D	9φ-@200 D	9φ-@200 D
開口部補強筋	タテ筋	1-D16	2-D13	2-D16	2-D16
	ヨコ筋	1-D16	2-D13	2-D16	2-D16
	斜筋		2-D13	2-D13	2-D16

南口部補強配筋凡例

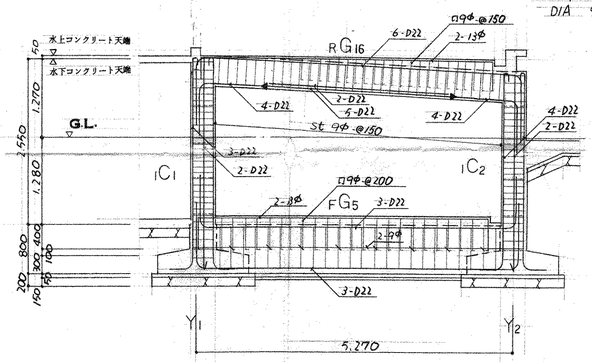




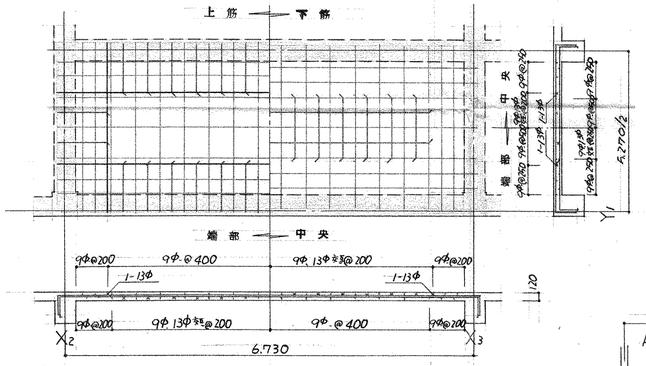
Y6 通架構配筋図

一註＝特記なき限り下記によること

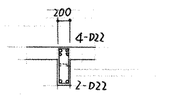
St　9φ-@200
中廻巾止筋　9φ-@600
HOOP　9φ-@100（梁面内9φ-@150）
DIA　9φ-@600



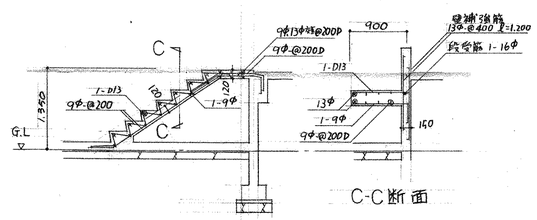
X2 通架構配筋図



S2 床版配筋図

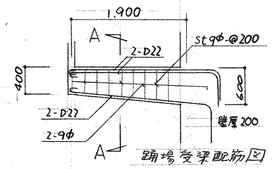


A-A 断面

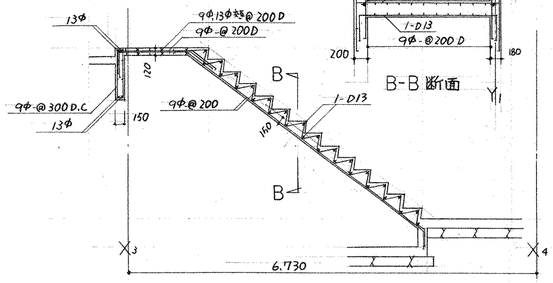


C-C 断面

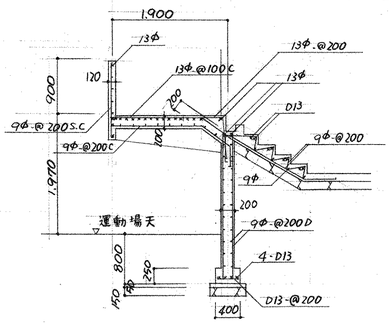
機械室階段配筋図



踊場受梁配筋図

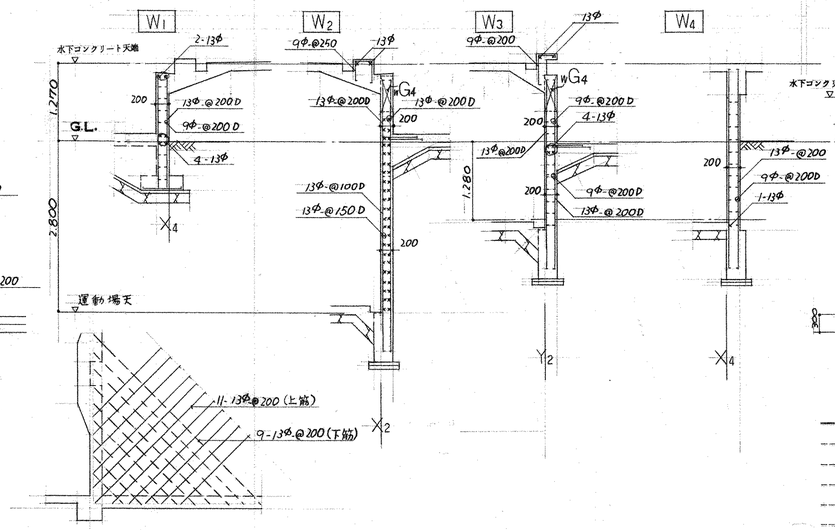


屋外階段配筋図

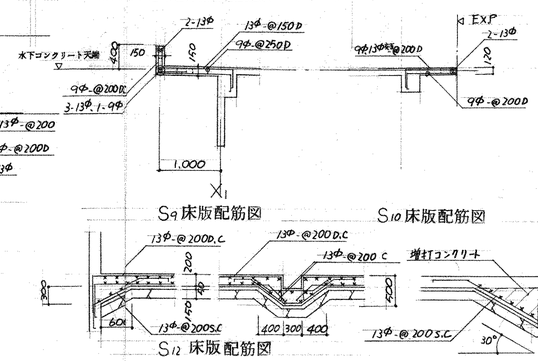


屋外階段配筋図

土圧及水圧壁配筋リスト



フシルぐう角部補強配筋図
一註＝四すみとも共通



S9 床版配筋図　S10 床版配筋図

S12 床版配筋図

竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	203
図面名	床版・小梁・壁・土圧&水圧壁 配筋リスト、雑配筋図、X2・Y6 通架構配筋図
縮尺	1:50
設計番号	
設計年月日	・・

株式会社　小河建築設計事務所
1級建築士　登録番号第8016　小河吉之助

電気設備工事特記仕様書

1．総則

工事名称　四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事

工事場所　四条畷市鞍手町

建物概要　構造 鉄筋コンクリート造 地下　階 地上 1 階 塔屋　階

床面積

	本工事建物 M²	既設建物 M²	合計 M²
延床面積	262.28		262.28
建築面積			
敷地面積	20,323.00		20,323.00

工事取合区分

No.	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降機	
1	キュービクル基礎						
2	変圧器ポンプ類、~~冷暖房機基礎~~			○			
3	高架水槽　冷却塔基礎						
4	仝上用架台						
5	埋込照明器具取付枠天井孔明						
6	吹出口吸込口取付枠天井孔明						
7	梁壁貫通スリーブ用補強	○					
8	梁壁貫通口穴詰め補修		○	○			
9	雨水排水設備	○		○			
10	汚水会所　割込排水会所						
11	流司　コンロ台						
12	流司類排水金物			○			
13	浴　槽						
14	風呂釜バーナー排気筒						
15	小便隔板						
16	洗面器用鏡　化粧棚　水石ケン入						
17	ガソリントラップ　グリーストラップ						
18	煙　突						
19	機器への給排水 ~~ガス~~ 配管接続工事			○			
20	下水本管への接続（雨水系統）						
21	仝上　（汚水系統）						
22	消火器具　避難器具						別途
23	厨房機器						
24	仝上配管接続工事						
25	上下水道の負担金						別途
26	水利組合納入金						別途
27	電力引込負担金						別途
28	電動シャッター操作盤及び二次側電気工事						
29	自動扉用操作盤の二次側電気工事						
30	昇降機用インターホン配管工事						
31	昇降機三方枠工事						
32	発信機ベル表示灯収納ボックス						
33	冷凍機操作盤二次側電気工事						
34	ボイラー　〃						
35	冷凍機ボイラー遠隔操作用電気工事						
36	仝上故障警報用電気工事						
37	パッケージ用手元操作盤及び接続電気工事						
38	空調自動制御機器用電気工事						
39	換気扇取付工事		○				
40	仝上用電源工事		○				
41	送排風機取付工事						
42	仝上用電源工事						
43	換気扇取付枠工事	○					
44	仝　上ガラリ工事	○					
45	送排風機取付枠工事						
46	湯沸場フード及び吸込口						
47	防火区画貫通ダクト配管の防火養生						
48	排煙ダクト						
49	排煙口及び手動開放装置						
/	ダクト天井吊C型鋼工事						
50	市井水槽蓄熱槽マンホール蓋取付工事						
51	排水槽排水ピット　〃						
52	油槽外部基礎工事						
53	ガラリ及びウェザーカバー工事						
54	電波障害						
55	煙感知器連動の防火扉開閉装置						
56	し尿浄化槽外廻　仝上内部装置						
	関係官庁申請手続及び許可金	○	○	○			

支給材　なし

発生材
施工規準

発生材が生じた場合は速かに調書を作成して係員の指示を受ける。
本仕様書は日本建築家協会編建築設備工事共通仕様書（ 75 年度版）及び設計図の特記仕様書である。
本工事は契約書に基きA現場説明事項　B本仕様書　C設計図　D共通仕様書　E日本建築学会標準仕様書により施工する。各記載事項に相違ある場合はABCDEの順序とする。

現場代理人及び主任技術者
協力業者
工程表他

現場代理人及び主任技術者は有資格者とし予め経歴書を提出して監理技師の承認を得ること。現場代理人は現場に常駐すること。
協力業者の決定については予め協力業者名簿を係員に提出し監理技師の承認を得ること。
工事着手届及び工程表並に主要機材発註先名簿は契約後7日以内に各3通提出し係員の承認を得る。工事中は係員の指示する報告書を提出する。なお作業時間休日等についても係員と打合せ承認を得ること。

写真
火災保険
メーカー材料

工程写真及び竣工写真は係員の指示に依り提出する。
金額及び加名保険会社は係員の同意を要する。保険の掛金は請負者の負担とし受取人は建築主とする。
本仕様にメーカー又は材料を指定してあるが、それ以外のメーカー材料の使用については変更要望書（理由書、カタログ経歴書等）を係員に提出する。検討の結果係員が全等以上と認めた場合に限り、その

メーカー又は材料を使用することができる。

竣工未済調書

工事完了届けは竣工時3通提出する。止むを得ず工期内に工事が完成しない時はその未済部分を係員立会の上、調書3通を作成して遅延理由書をつけて提出する。
尚、未済事項は指定の期日迄に遅滞なく完成させ、係員の検査を受ける。

竣工後の検査

契約々款カシ担保期間内の時期（竣工後1年前後）に当物件の立会検査を行う。
問題が生じている場合は協議の上処置すること。

申請手続

申請関係手続及び手数料は業者負担とする。

竣工図

竣工図は原図製本　部及びマイクロフィルムはマルヤ写真工業㈱ＴＥＬ.06－5 8－3995に発註①上事務所の規格に合致するものを提出する。

竣工書類

1．機器取扱説明書　2．機器性能試験表　~~3．絶縁測定表　4．接地抵抗表　5．絶縁耐力試験表　6．継電器動作試験表　7．キ V 電界強度測定表 8．非常照明照度表　9．電話抵抗測定表~~ 10．予備品納入品一覧表11．1年検査請書
●印をつけたものを適用する。

2．特記事項

準拠規則

電気設備技術基準　内線規程　関係諸官庁の技術基準

電線色分

電灯動力回路

電圧種別		配電方式	接地側	電圧側	接地線
	直流		白	赤	
低圧	交流	単相2線式	白	黒	緑
	〃	単相3線式	白	赤 黒	〃
	〃	三相3線式	青	赤 黒	〃
高圧	〃	三相3線式		赤黒青	〃

放送時計回路

配線種別	色	
共通線	白	
緊急線	赤	
回路別配線	黒	回路別にマークバンド巻付
外部スピーカー配線	青	
時計配線	黄	

火災報知回路

配線種別	色	
共通線	白	
表示線	黒	回路別にマークバンド巻付
ベル線	赤	
電話線	緑	
応答線	黄	
表示灯	青	

無記入電線配管サイズ

種別	電線	電線管	備考
電灯回路	IV 1.6㎜	19㎜	
コンセント回路	IV 2.0㎜	19㎜	
放送回路	IV 1.2㎜	19㎜	
火災報知回路	IV 1.2㎜	19㎜	
時報ベル回路	IV 1.6㎜	19㎜	
電話回路	被覆鉄線1.6㎜	19㎜	

アースボンド
配線器具
仝上用プレート

~~○軟銅線 8.0㎜ ○同等以上~~ ●ラジアスクランプ
コンセントで20A以上及び防湿型特殊型等は差込キャップを附属品として含む。
●金属製（新色調）　~~○樹脂製（　　）~~

空配管
照明器具

ビニール被覆鉄線 1.6㎜を挿入すること。
蛍光灯は高力率型とする。但しホームライトは低力率型とする。点灯方式は40W未満はグロースタート40W以上は○~~ラピッドスタート~~●ラピットスタートとする。非常用照明器具は即時点灯性を有するもので低力率型、誘導灯はグロースタート式低力率型のものとする。蛍光灯の電圧は40W未満は100V 40W以上は● 100V○ ~~200V~~とする。

3．工事項目

●印をつけた項目を施工する。

○引込受変電設備工事

○本工事は電力会社柱より○架空引込○地中引込に依り○低圧○高圧にて○引込開閉器○屋外キュービクル○屋内キュービクル○屋外フレーム組立受変電設備○屋内フレーム組立受変電設備を経て電灯回路○ 100V○ 200V動力回路○ 200V特殊電圧回路○ 230（115）V○ 440（220）Vの低圧配電盤迄の工事とする。
○本工事は既設受変電設備の高圧側母線より分岐し○電力ヒューズ○油入遮断器○変圧器○蓄電器○油入開閉器○高圧盤○低圧盤○増設○取り替えを行うもので既設機器との協調に十分留意するものとする。

○直流電源設備工事

本工事は○非常用○電磁操作用電源として○鉛○アルカリ蓄電池式直流電源装置を設置するもので附属品一式納入据付及び試験調整迄とする。

●幹線設備工事

○本工事は低圧盤二次側より電灯分電盤動力操作盤迄の配管配線とする。
●本工事は●既設~~○増設~~低圧盤二次側○幹線ブルボックスより分岐し~~○新設~~●増設分電盤動力操作盤迄の配管配線とする。

●動力設備工事

本工事は●動力操作盤~~○制御盤 盤類~~取付より各動力機器迄の配管配線結線までとし試運転調整の責任を持つこと。

●電灯コンセント設備工事

本工事は電灯分電盤開閉器盤類取付より各照明器具配線器具迄の配管配線器具取付結線までとし絶縁点灯の責任を持つこと。
1．器具取付高さは原則として点滅器は床上~~○1250~~●1300コンセントは~~○300~~ ●250 とする。
2．二重天井内は○いんぺい配管配線○VA配線とする。
3．非常用コンセント工事は消防法規に準拠し配管配線器具取付を行う。
4．非常用照明設備工事は建築法規に準拠し配管配線器具取付を行う。

●照明器具設備工事

本工事は照明器具の製作及び取付調整を行うものとする。但し姿図は大略を示すもので製作前に承認図を提出し充分細部検討の上係員の承認を得て製作する。

○電話配管設備工事

○本工事は引込口以降○保安器函○主配線盤を経て端末電話受口までの○配管○フロアダクト設置並に端子盤取付工事を行うものでフロアーボックスには調節カバーを取付けローテンションは　　型（　　個）とする。空配管には清掃の上ビニール被覆鉄線を挿入しておくこと。
○本工事は既設配管を分岐延長し○端子盤取付○配管○フロアダクトを経て端末電話受口までの工事としフロア・ボックスには調節カバーを取付けローテーションは　　型（　　個）とする。空配管には清掃の上ビニール被覆鉄線を挿入しておくこと。

○電話交換配線設備工事

○本工事は○共電式○自動式交換機○ボタン電話機を設置し各電話機までの配線、結線を行うもので所轄電話局との立会検査に合格の上引渡すものとし通話の責任を持つこと。
○本工事は既設交換機の○増設○取り替えを行い配管の分岐延長に伴う配線並に機器への結線を行うもので所轄電話局との立会検査に合格の上引渡すものとし通話の責任を持つこと。

●放送~~時計~~設備工事

○本工事は増巾器（○一般型○非常放送組込型○非常放送型出力　　W）より各スピーカー迄の配管配線機器取付調整（○一般回路○非常放送兼用回路○非常放送専用回路）までの工事を行うものとし時計組込スピーカーも本工事に含むものとする。親時計は○据置型○壁掛型で○水晶式○振子式とし○埋込型○壁掛型○特殊型の子時計の取付調整を行うものとする。
●本工事は既設配管配線を分岐延長し●スピーカー~~○子時計~~の取付を行うもので取付機器の仕様並に取付方法については既設部品との取り合せに十分留意すること。

○インターホン設備工事

○本工事は　　局○相互式○親子式○複合式○交互通話式○同時通話式○ドアホン○インターホンを図示の位置に設置するもので配管配線機器取付結線調整迄とする。
○本工事は既設配管を分岐延長し増設個所への配線結線機器取付を行うもので既設部分との協調に十分留意すること。

○テレビ共聴設備工事

○本工事は屋上にテレビアンテナ（○VHF○UHF）を設置し分岐分配器を経て各端末整合器迄の配管配線機器取付調整迄とする。
○本工事は既設配管を分岐延長し増設整合器迄の配線結線を行うもので既設受信利得に比し甚だしく減衰なき様十分留意するものとする。

○火災報知設備工事

○本工事は○受信機（　窓）○副受信機（　窓）を　　に設置し各端末機器迄の配管配線機器取付調整迄とし所轄消防署の立会検査合格の上引渡しをするものとする。
○本工事は既設配管配線を分岐延長し所要個所への各端末機器取付を行うもので○受信機（　窓）○副受信機（　窓）は○予備回路を利用○新たに増設するものとし所轄消防署の立会検査合格の上引渡しをするものとする。

○避雷針設備工事

本工事はＪＩＳ規格に準拠し塔屋に突針（　　）基を設置し○避雷導線○鉄筋鉄骨熔接にて接地極（個所）に接続するものとし所定の接地抵抗値を得るものとする。

○自家発電設備工事

特記事項　・既設取合いにて明り窓部は原形復旧を行うものとする。

4．機材メーカー

No.	機材名称	指定メーカー
1	鋼製電線管フロアダクト	松下　日本パイプ　護摩
2	仝上附属品	古上の組　日東電鋼
3	電線	住友　藤倉　タツタ　大日本　昭和　日立
4	ケーブル類	古上
5	~~バスダクト~~	
6	~~高低圧盤~~	
7	分電盤動力盤	田外　富材　下谷　山崎　大日
8	~~変圧器~~	
9	~~コンデンサー~~	
10	~~油入開閉器~~	
11	~~避雷器~~	
12	~~直流電源~~	
13	配線器具	松下　東芝　神保
14	照明器具	松下　東芝　三菱　日立
15	~~高圧水銀灯類~~	
16	~~照明器具別註品~~	
17	換気扇	松下　三菱　東芝
18	放送装置	松下　東芝　ビクター
19	~~子クロック~~	
20	電気時計	
21	テレビ共聴	
22	自動火災報知	
23	避雷針	
24	電話交換機	
25	充電機	
26	ＩＴＶ設備	

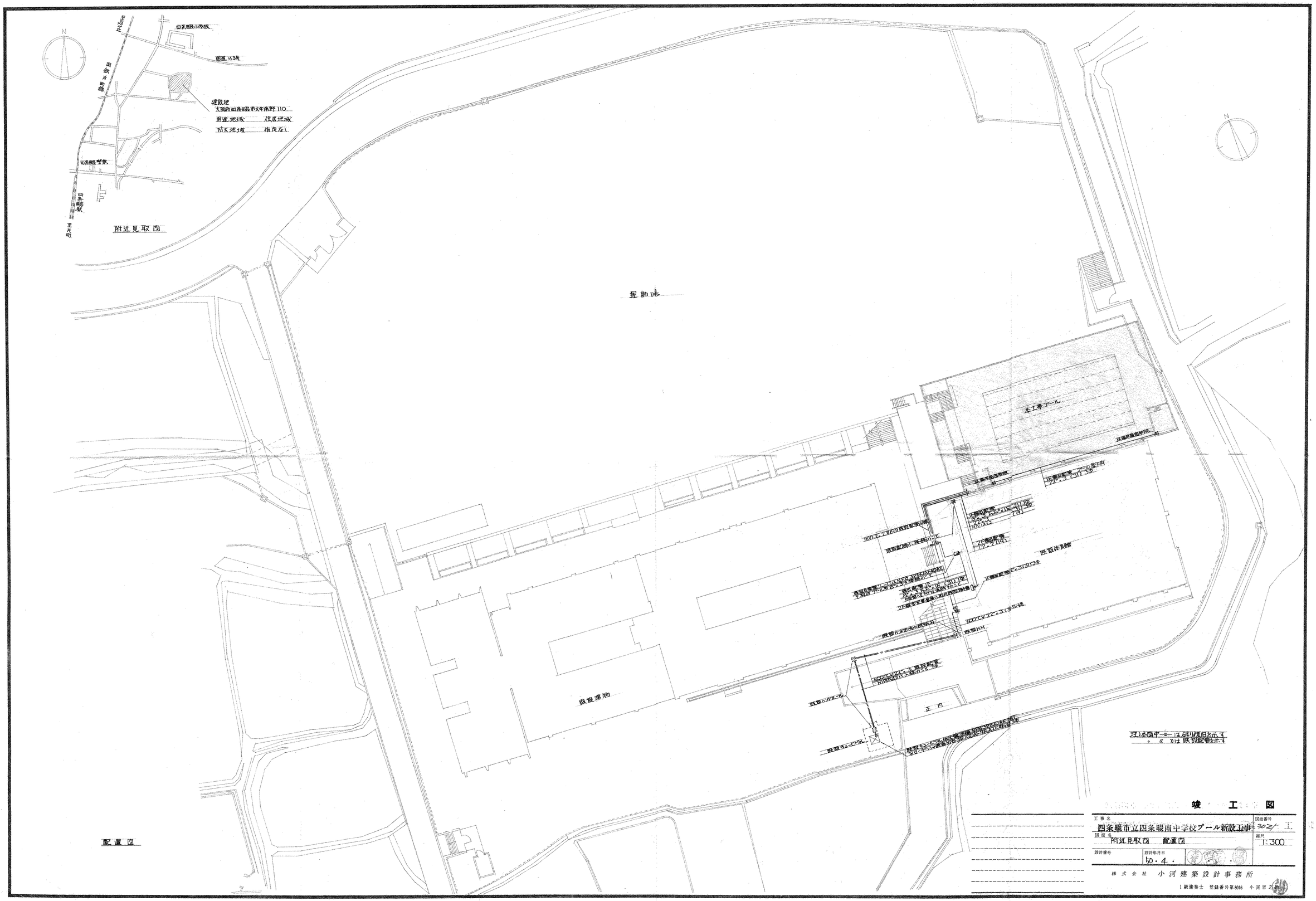
竣工図

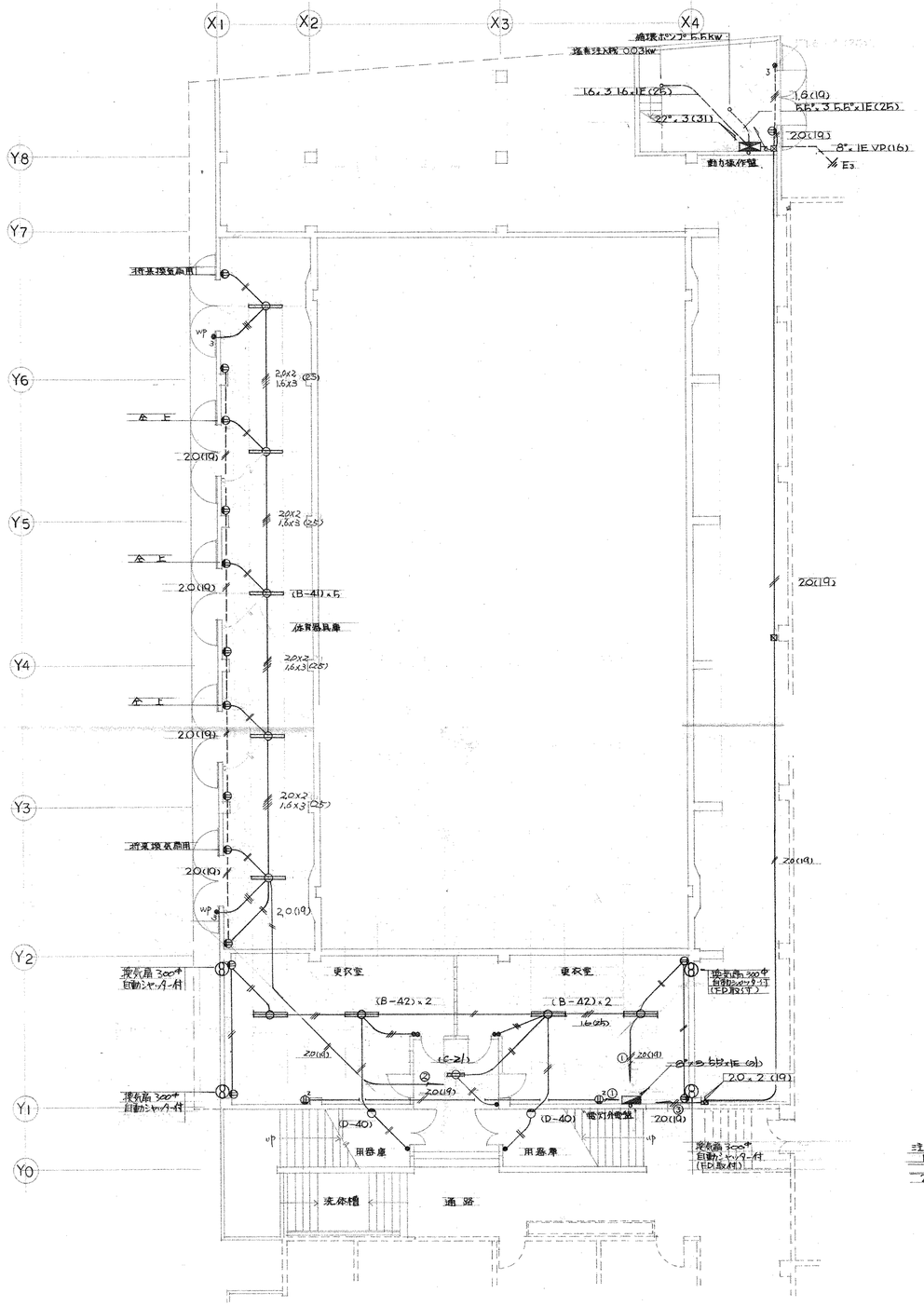
凡例

○	天井灯	⊕	コンセント	⊖	換気扇	⊟	コンデンサー		電力盤	MDP	主配線盤		ブザー	♪	スピーカージャック	MIX	混合器				
⊖	コードペンダント	⊕	フロアコンセント	(N)	モーター	B	開閉器		動力操作盤		交換機		警報受信盤	AMP	増巾器		避雷突針				
⊘	盲プレート止	●	スイッチ	©	発電機	B	電磁開閉器	T	内線電話機	I	インターホン（子）		子時計		テレビアンテナ		接地	———	天井いんぺい配線		
	蛍光灯	$●_2$	〃（両切）	$●_R$	リモコンスイッチ		仝上用押釦		局線　〃		インターホン（親）		親時計		テレビ受像機			-------	露出配線		
	仝上（非常灯組込）	$●_3$	〃（3路）	$●_{RL}$	仝上（パイロットランプ付）		カットアウト		保安器		電話用アウトレット		時報子時計		テレビアウトレット			—·—·—	床いんぺい配線		
⊗	非常灯	$●_4$	〃（4路）		セレクタースイッチ		電力量計		端子盤		外灯		スピーカー		分岐分配器函			—··—··—	床面露出配線		
◐	ブラケット		誘導灯	▲	リモコンリレー		分電盤		中間端子盤		ベル		マイクジャック		増巾器			—···—···—	地中埋設配線		

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	301
図面名	電気設備工事特記仕様書
縮尺	
設計番号	
設計年月日	50.4.

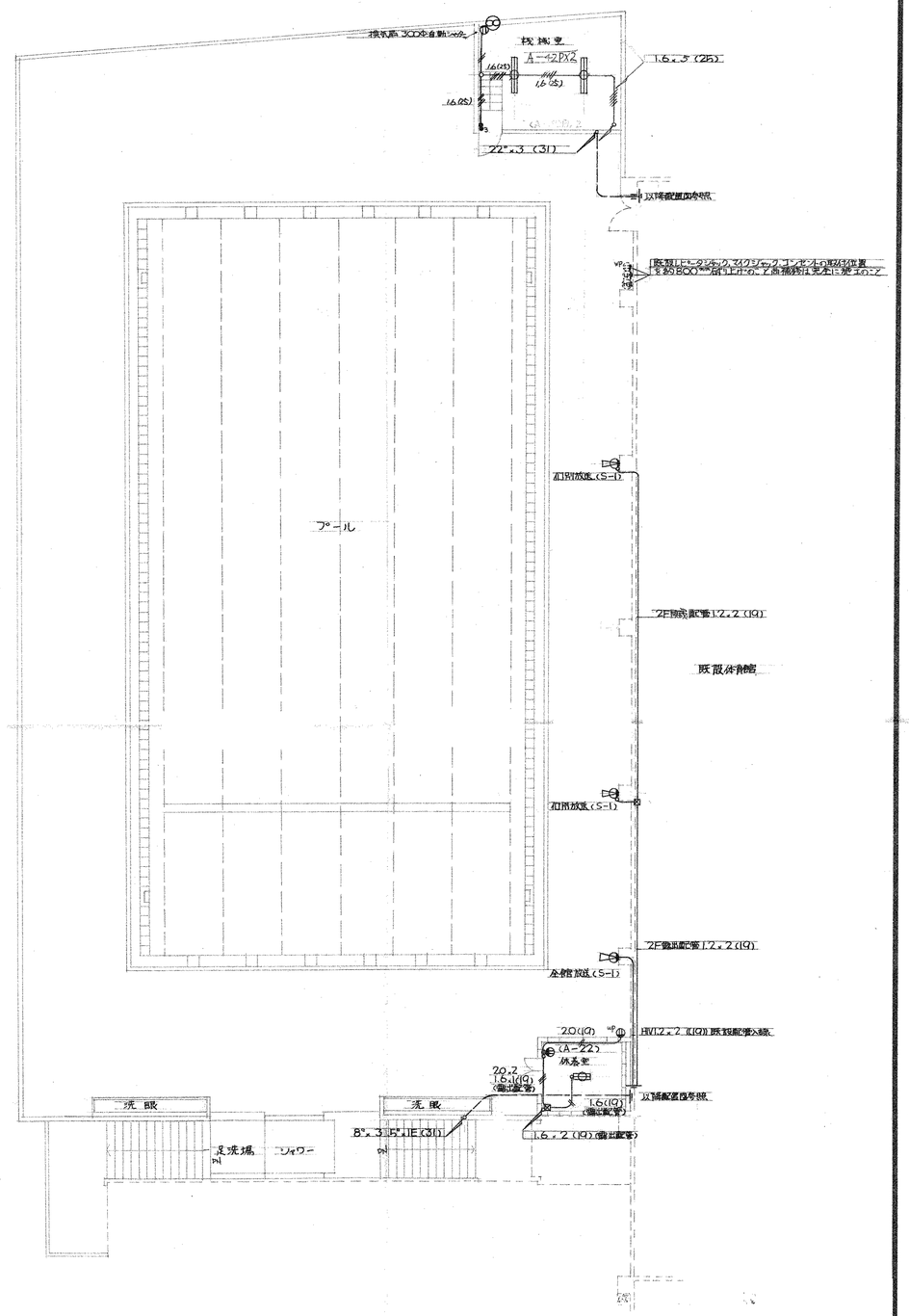
株式会社　小河建築設計事務所
1級建築士　登録番号第8016　小河吉之助


四条畷小学校
国道163号
建設地
大阪府四条畷市大字南野 110
用途地域 住居地域
防火地域 指定なし
四条畷警察
四条畷駅
近鉄南大阪線
附近見取図
既設建物
既設体育館
本工事プール
正門
既設ハンドボールコート
既設ミニコート
既設HH
既設プール体育館
既設配管に接続のこと
既設配管
既設プール体育館
既設プール体育館
既設プール体育館



プール平面図

注)
1.体育器具庫内、壁面配管配線器具ボックスはコンクリート内埋込とする。(外部露出配管)
2.特記なき配管配線は15(19)とする。

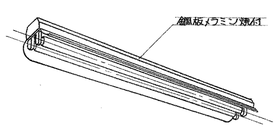


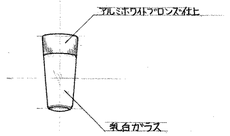
竣工図

工事名	四条畷市立四条畷南小学校プール新設工事
図面番号	203/
図面名	プール平面図
縮尺	1:100
設計番号	
設計年月日	10.4.

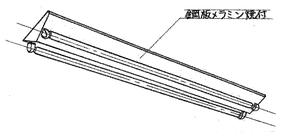
株式会社 小河建築設計事務所

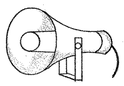
1級建築士 登録番号第8016 小河吉之





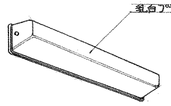
A − 22	FL 20W × 2　笠なし　直付			
A − 42P	FL 40W × 2　両面反射笠　パイプ吊り	D − 40	IL 40W	コップ型

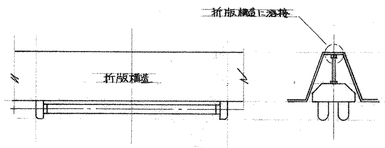




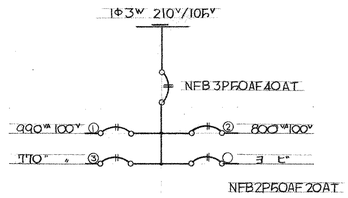
入力インピーダンス	8Ω
許容入力	5W
周波数特性	400~5000Hz
音圧感度	104dB以上

B − 41	FL 40W × 1　V型　直付	
B − 42	FL 40W × 2　〃　〃	トランペットスピーカ



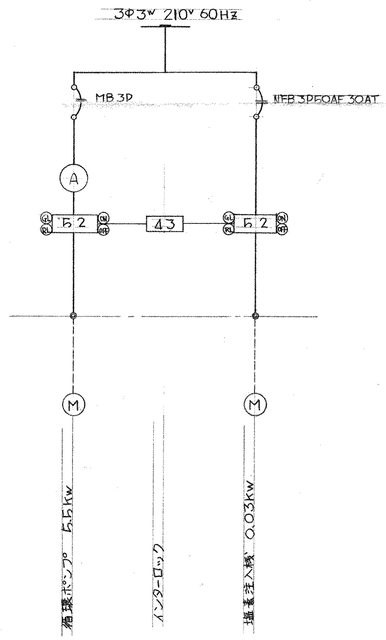


C − 21	FL 20W × 1　ウォールライト	体育室 残置 照明器具取付参考図



計 2560VA

電灯分電盤結線図



動力操作盤結線図

43切替表

1	常通	循環ポンプと塩素注入機同時運転
2	逆流	〃　〃　のみ運転し塩素注入機は運転不能
3	断	
4	単独運転	

竣　工　図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	204
図面名	照明器具参図
縮尺	
設計番号	
設計年月日	50・4・

株式会社　小河建築設計事務所

1級建築士　登録番号第8016　小河吉之

衛生設備工事特記仕様書

1．総　　則

工事名称：四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事

工事場所：四条畷市野崎町2丁目

建物概要：構造 鉄筋コンクリート造　地下　　階　地上 1 階　塔屋　　階

床面積

	本工事建物	既設建物	合計
	M²	M²	M²
延床面積	262.28		262.28
建築面積			
敷地面積	20323.00		20323.00

工事取合区分

No.	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降機	
1	キュービクル基礎						
2	変圧器ポンプ類、冷暖房機基礎			○			
3	高架水槽　冷却塔基礎						
4	全上用架台						
5	埋込照明器具取付枠天井孔明						
6	吸出口吸込口取付枠天井孔明						
7	梁壁貫通スリーブ用補強	○					
8	梁壁貫通口穴詰め補修		○	○			
9	雨水排水設備	○		○			
10	汚水会所　割込排水会所						
11	流司　コンロ台						
12	流司類排水金物			○			
13	浴槽						
14	風呂釜バーナー排気筒						
15	小便隔板						
16	洗面器用鏡　化粧棚　水石ケン入						
17	ガソリントラップ　グリーストラップ						
18	煙　　突						
19	機器への給排水ガス配管接続工事			○			
20	下水本管への接続（雨水系統）						
21	全上　　（汚水系統）						
22	消火器具　避難器具						別途
23	厨房機器						
24	全上配管接続工事						
25	上下水道の負担金						別途
26	水利組合納入金						別途
27	電力引込負担金						別途
28	電動シャッター操作盤及び三次側電気工事						
29	自動扉用操作盤の三次側電気工事						
30	昇降機用インターホン配管工事						
31	昇降機三方枠工事						
32	発信機ベル表示灯収納ボックス						
33	冷凍機操作盤二次側電気工事						
34	ボイラー　　〃						
35	冷凍機ボイラー遠隔操作用電気工事						
36	全上故障警報用電気工事						
37	パッケージ用手元操作盤及び接続電気工事						
38	空調自動制御機器用電気工事						
39	換気扇取付工事		○				
40	全上用電源工事		○				
41	送排風機取付工事						
42	全上用電源工事						
43	換気扇取付枠工事	○					
44	全上ガラリ工事	○					
45	送排風機取付枠工事						
46	湯沸場フード及び吸込口						
47	防火区画貫通ダクト配管の防火処理						
48	排煙ダクト						
49	排煙口及び手動開放装置						
50	ダクト天井用ベ型鋼工事						
51	雨井水槽蓄熱槽マンホール蓋取付工事						
52	排水槽排水ピット　　〃						
53	油槽外部基礎工事						
54	ガラリ及びウェザーカバー工事						
55	電波障害						別途
56	煙感知器連動の防火器開閉装置						
57	し尿浄化槽外部　全上内部装置						
	関係官庁申請手続及び納付金	○	○	○			

支給材　　有し

発生材　　発生材が生じた場合は速かに調書を作成して係員の指示を受ける。

施工規準　　本仕様書は日本建築家協会編建築設備工事共通仕様書（75 年度版）及び設計図の特記仕様書である。
本工事は契約書に基きA現場説明事項　B本仕様書　C設計図　D共通仕様書　E日本建築学会標準仕様書により施工する。各記載事項に相違ある場合はＡＢＣＤＥの順序とする。

現場代理人及び工事主任技術者　　現場代理人及び主任技術者は有資格者とし予め経歴書を提出して監理技師の承認を得ること。現場代理人は現場に常駐すること。

協力業者　　協力業者の決定については予め協力業者名簿を係員に提出し監理技師の承認を得ること。

工程表他　　工事着手届及び工程表並に主要機材発註先名簿は契約後７日以内に各３通提出し係員の承認を得る。工事中は係員の指示する報告書を提出する。なお作業時間休日等についても係員と打合せ承認を得ること。工程写真及び竣工写真は係員の指示に依り提出する。

写真　　金額及び加名保険会社は係員の同意を要する。

火災保険　　保険の掛金は請負者の負担とし受取人は建築主とする。

メーカー材料　　本仕様にメーカーズは材料を指定してあるが、それ以外のメーカー材料の使用については変更要望書（理由書、カタログ経歴書等）を係員に提出する。検討の結果係員が全等以上と認めた場合に限り、その

竣工未済調書　　工事完了届けは竣工時３通提出する。止むを得ず工期内に工事が完成しない時はその未済部分を係員立会の上、調書３通を作成して遅延理由書をつけて提出する。
尚、未済事項は指定の期日迄に遅滞なく完成させ、係員の検査を受ける。

竣工後の検査　　契約々款カシ担保期間内の時期（竣工後１年前後）に当物件の立会検査を行う。
問題が生じている場合は協議の上処置すること。

申請手続　　申請関係手続及び手数料は業者負担とする。

竣工図　　竣工図は原図製本　部及びマイクロフィルムはマルワ写真工業㈱ＴＥＬ.06－538－3995に発註の上事務所の規格に合致するものを提出する。

竣工書類　　1．機器取扱説明書　2．機器性能試験表　3．予備品納入品一覧表　4．１年検査請書

準拠規則　　関係諸官庁の技術基準

2．工事項目

●屋外給水設備工事　　●印をつけた項目を施工する。
○本工事は上水道本管接続以降建物外周１米の地点までの給水配管及び器具取付を行うものとし引込負担金を含むものとする。
●本工事は既設給水管より分岐延長し図示所要個所までの給水配管の増設を行う。

●屋外排水設備工事　　○本工事は建物外周１米の地点より○汚水○雑排水を○分流式○合流式にて○浄化槽○下水道本管に接続までの排水配管会所の取付を行うもので接続負担金を含むものとする。
●本工事は建物外周1米の地点より雨水、雑排水を既設排水桝経由の排水配管会所の取付を行う

○屋外ガス設備工事　　○本工事はガス本管接続以降建物外周１米の地点までのガス配管及び器具取付を行うもので本管引込負担金を含むものとする。
○本工事は既設ガス管より分岐延長し図示個所までのガス配管及び器具取付を行うもので増設に伴う引込負担金を含むものとする。

●屋内給水設備工事　　●本工事は建物外周１米以降○高架水槽○圧力水槽を経て○重力式○真空式○圧送式にて屋内所要個所への配管及び器具取付を行うものとする。
○本工事は○既設水槽○増設水槽の給水管より分岐延長し○重力式○圧送式にて屋内所要個所への配管及び器具取付を行うものとする。

●屋内排水通気設備工事　　●本工事は屋内各所より建物外周１米の地点迄の○汚水●雑排水●通気用配管及び器具の取付を行うものとする。

●プール浄化設備工事　　本工事は図示　機械室に浄化機を設置し　プールの浄化循環を行うものとする。

3．管材料及び被覆材塗装仕上

●印をつけたものを適用する

	管材料名（JIS番号）			主被覆材名	厚mm	屋内露出部	屋内いんぺい部	屋外露出部	配管用ピットトレンチ部	地中埋設部	コンクリート埋設部
給水管（プール循環パイプ）	○鋼管G3442 ○ＨＩＰＫ6742	○ＶＰK6742 ○鋳鉄管G5521	●ＶＬＰG3452	グラスウール	20	綿テープ巻の上仕上	綿テープ巻	亜鉛鍍鋼板巻の上	ビスタロン巻テープ巻の上仕上	全上	全上
全上接続部	○ＶＰK6742	●鉛管H4312								全上	全上
全上屋外埋設管	○鋼管G3442 ○鋳鉄管G5521	○ＶＰK6742 ○脱酸銅管H3603	●鉛管H4312 ● VLPG 3452							全上	
給湯管	○鋼管G3452	○黄銅管H3631	○脱酸銅管H3603								
排水管	○鋼管G3452	○鋳鉄管G5525	●ＶＰK6741			VP		OP			
全上接続部	●鉛管H4311	○ＶＰK6741	○								
全上屋外埋設管	○鋳鉄管G5525 ○陶管R1201	○ＶＰK6741 ○エタニットパイプA5301	○ヒューム管A5303								
汚水管	○鋳鉄管G5525	○ＶＰK6741	○ＶＬＰG3452								
全上接続部	○鉛管H4311	○ＶＰK6741									
全上屋外埋設管	○鋳鉄管G5525	○ＶＰK6741	○ヒューム管A5303								
ガス管	○鋼管G3452	○鋳鉄管G5521	○								
通気管	○鋼管G3452	●ＶＰK6741	○鉛管H4311			OP		OP			
消火管	○鋼管G3452	○鋳鉄管G5521									
スプリンクラー管	○鋼管G3452	○鋼管G3452									
給油管	○鋼管G3452(黒)										
プール循環パイプ	○ VLPG3452					OP		OP		全上	全上

○衛生器具設備工事　　本工事は所要個所に衛生陶器並に付属金具の取付を行うものとする

○給湯設備工事　　○本工事は所要個所に○貯湯式ボイラー○湯沸器○給湯ポンプを設置し所要個所に給湯を行うものとする。
○本工事は○既設○増設○貯湯式ボイラー○湯沸器より給湯管を分岐延長し所要個所に給湯を行うものとする。

○消火栓設備工事　　○本工事は消防法に準拠し所定個所に○屋内消火栓○屋外消火栓の設置を行うものとする。
○本工事は既設消火管を分岐延長し所定個所に○屋内消火栓○屋外消火栓の設置を行うものとし既設消火ポンプは○取替え○継続使用とする。
又、図示位置に屋外消火栓の取付を行う。

○ガス設備工事　　○本工事は○ガスメーター○プロパンガスボンベ以降所要個所への配管器具取付を行うものとする。
○本工事は既設ガス○主管○枝管を分岐延長し所要個所への配管器具取付を行うものとし既設○ガスメーター○プロパンガスボンベは○取替え○継続使用とする。

○換気設備工事　　○本工事はダクトにより所要個所の換気を行う。但し換気機器用電源工事は電気工事に含むものとする。
○本工事は既設ダクトを分岐延長し所要個所の換気を行う。換気機器は○取替え○継続使用とする。

○厨房設備工事　　本工事は図示の通り厨房用各種器具の設置を行うもので器具用給排水及びガス配管工事は夫々の工事項目に含むものとする。

○浄化槽設備工事　　本工事は図示の位置に○欧米式○低床式○ばっき式○合併処理式　人槽を設置するものとする。

特記　　本工事は防音、防振、騒音は充分注意をはらい、防振ゴム、フレキシブルジョイント等図示の如く又係員の指示通り取付けるものとする。

4．機材メーカー

No.	機材名称	指定メーカー
1	鋼鉄管	久保田鉄工　東京鉄工　名古川鋼工
2	全上異形管	〃　〃
3	銅等	
4	全上異形管類	
5	ビニールライニング鋼管	積水化学　三菱樹脂
6	異形管(エポキシ樹脂ライニング)	〃　〃
7	全上(塩ビ焼付)	〃　〃
8	ドレネジ継手	
9	塩化ビニール管	積水化学　三菱樹脂　久保田鉄工
10	鉛管	シイエン　木村鍛鉄　芳賀鉛化工
11	脱酸銅管	
12	全上異形管類	
13	ヒューム管	安川ヒューム　東京鉄工　帝国ヒューム　羽田ヒューム
14	弁類	東洋バルブ　大和バルブ　三吉バルブ
15	衛生陶器金具	東陶機器　伊奈製陶
16	排水金物	大阪ドレネジ　関西鋳工　長谷川鋳工
17	ポンプ類	荏原製作所　柴田東芝機械　相互ポンプ　川本ポンプ
18	電動機	東芝　三菱　松下　日立
19	消火栓器具	
20	水槽	
21	樹脂水槽	
22	鋳鉄蓋	大阪ドレネジ　関西鋳工　長谷川鋳工
23	湯沸器	
24	浴槽	
25	給湯ボイラー	
26	換気扇	
27	厨房器具	
28	浄化槽	
29	連過装置	東和製薬、理水化学、ミクロ化学（メーカー決定については上記メーカー指定型式あるいは数値を監督員と相談のうえ決定する）
30	スプリンクラー設備	
31	泡消火設備	
32	炭酸ガス消火設備	
33	量水器	
34	薬剤処理機	
35	保温類	
36	フレキシブルジョイント	大阪ゴム工業　日本ベル　東京フレックス、明治ゴム
37	防振ゴム	明治ゴム　昭和電線電纜

竣工図

凡例

	弁一般		減圧弁減圧弁装置		低圧トラップ		水高計		地上式屋外消火栓		全上一口		ガス一口ホックスコック		床排水金物(防水)		公共桝角型		水栓柱
	逆止弁		電磁弁電磁弁装置		低圧トラップ変置		連成圧力計		地下式　〃		アラーム弁装置		〃　コ　〃		グリーストラップ		全上丸型		シャワーヘッド
	ストレーナー		電動二方弁電動二方弁装置		温度計		フレキシブルジョイント		送水口壁付		スプリンクラーヘッド		量水器		トラップ桝		ルーフドレン		ミキシング水栓
	水撃防止器		リフトフィッティング		ベローズ型伸縮継手		屋内消火栓		送水口スタンド型		ガスメーター		床上掃除口(非防水)		汚水桝角型		シンキングトラップ		散水栓
	安全弁		自動空気抜弁		圧力計		全上放水口付		防火栓消火栓(露出壁付)		ガス湯沸器		全上(防水)		全上丸型		排水トラップ		洗浄弁
	ガスコック		単式スリーブ型伸縮継手		真空計		消防隊専用放水口		全上一口		ガス一口コック		床下掃除口		雑排水桝角型		給水栓給湯栓		ボールタップ
	オイルストレーナー		複式　〃		曲常型伸縮継手		全上双口		全上(露出スタンド型) 双口		〃　二口コック		床排水金物(非防水)		全上丸型		自在水栓		

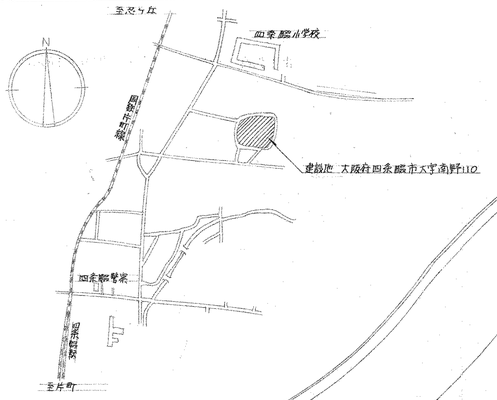
工事名：四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事　　図面番号 401

図面名：衛生設備工事特記仕様書　　縮尺

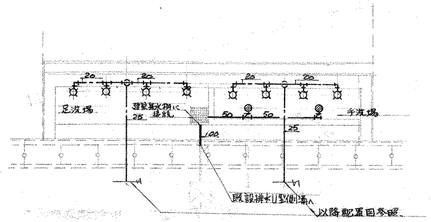
設計番号　　設計年月日 50. 4.

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士　登録番号第8016　小河吉之



附近見取図



足洗場、手洗場 詳細図 1:50

足洗場 手洗場		
石張ホール水栓	T-200 BY-13	8
流し排水金物	T 14 BP-50	2

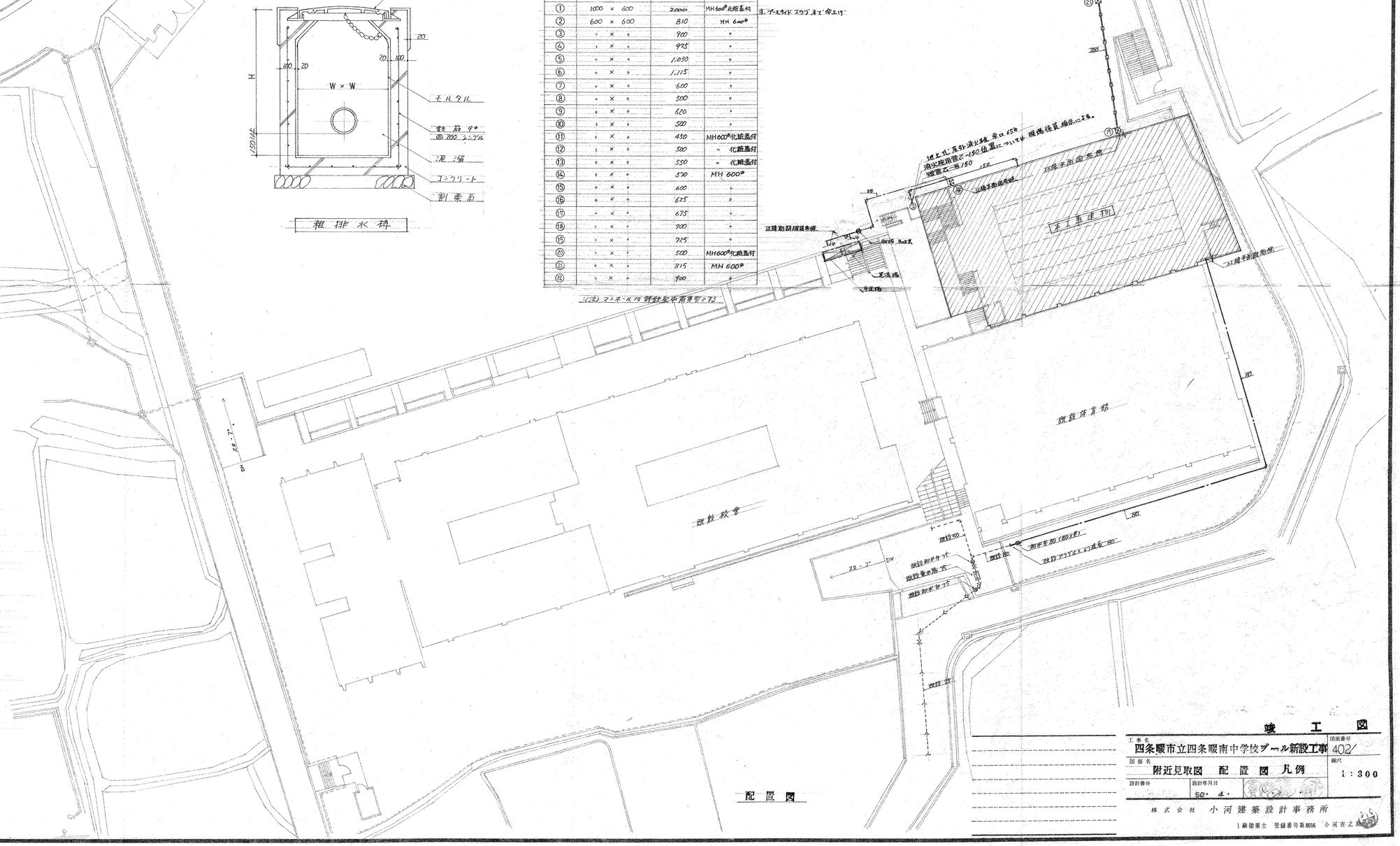
雑排水桝

雑排水桝表

記号	W × W	H	マンホール
①	1000 × 600	3000	MH600φ化粧蓋付
②	600 × 600	810	MH 600φ
③	〃 × 〃	900	〃
④	〃 × 〃	975	〃
⑤	〃 × 〃	1,030	〃
⑥	〃 × 〃	1,115	〃
⑦	〃 × 〃	600	〃
⑧	〃 × 〃	500	〃
⑨	〃 × 〃	620	〃
⑩	〃 × 〃	500	〃
⑪	〃 × 〃	450	MH600φ化粧蓋付
⑫	〃 × 〃	500	〃 化粧蓋付
⑬	〃 × 〃	550	〃 化粧蓋付
⑭	〃 × 〃	570	MH 600φ
⑮	〃 × 〃	600	〃
⑯	〃 × 〃	625	〃
⑰	〃 × 〃	675	〃
⑱	〃 × 〃	700	〃
⑲	〃 × 〃	725	〃
⑳	〃 × 〃	500	MH600φ化粧蓋付
㉑	〃 × 〃	815	MH 600φ
㉒	〃 × 〃	900	〃

注 デッキドスラブ、まて、帝上げ

(注) マンホールは鋳鉄製平面図参照



配置図

凡例

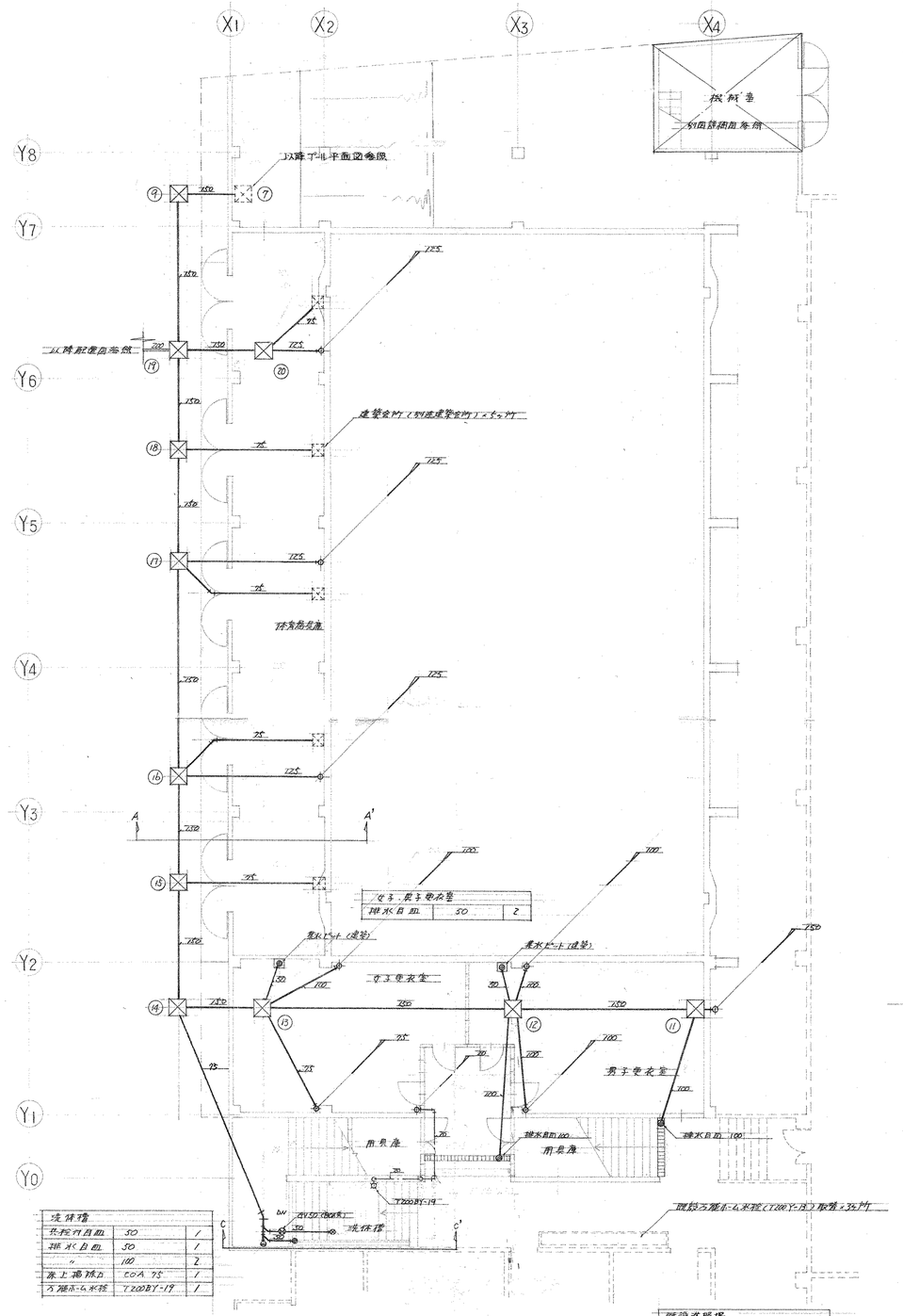
記号	名称
	給水管
	排水管
	ヒューム管
	既設給水管
	給水栓
	バルブ
	給水栓
	排水金物
	床上掃除口
	雑排水桝
	プール用オーバーフロー金物
	プールサイド排水金物

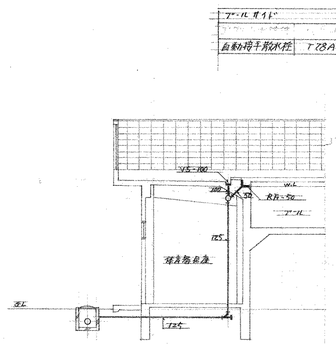
竣工図

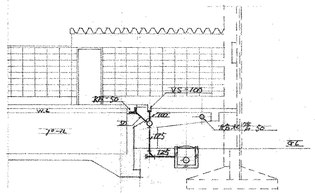
工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面名	附近見取図 配置図 凡例
図面番号	402
縮尺	1:300
設計番号	
設計年月日	50・4・

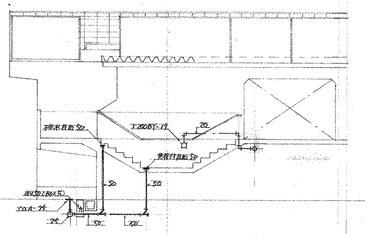
株式会社 小河建築設計事務所

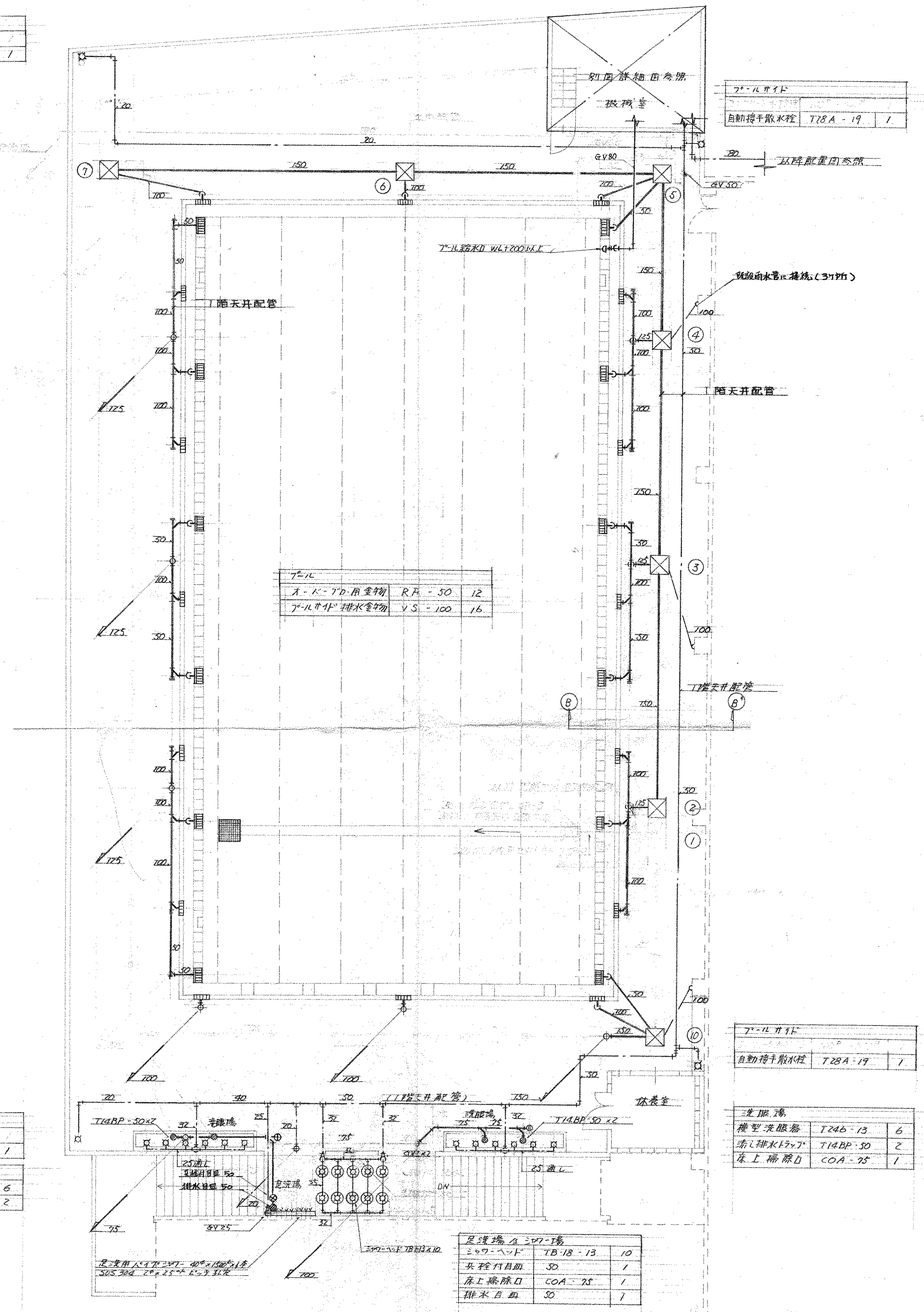
1級建築士 登録番号第8016 小河吉之助











プールサイド		
自動持手散水栓	T28A-19	1

洗体槽		
共枠付目皿	50	1
排水目皿	50	1
〃	100	2
床上掃除口	COA-75	1
万福ホール水栓	T200BY-19	1

せき・男子更衣室		
排水目皿	50	2

洗眼場		
洗眼器	T246-13	6
流し排水トラップ	T14BP-50	2

既設洗眼場		
洗眼器	T-246-13	3

プール		
スイミング用金物	RF-50	12
プールサイド排水金物	VS-100	16

足洗場及シャワー場		
シャワーヘッド	TB-18-13	10
共枠付目皿	50	1
床上掃除口	COA-75	1
排水目皿	50	1

竣工図

工事名 四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事

図面番号 403/

図面名 平面図 (1)

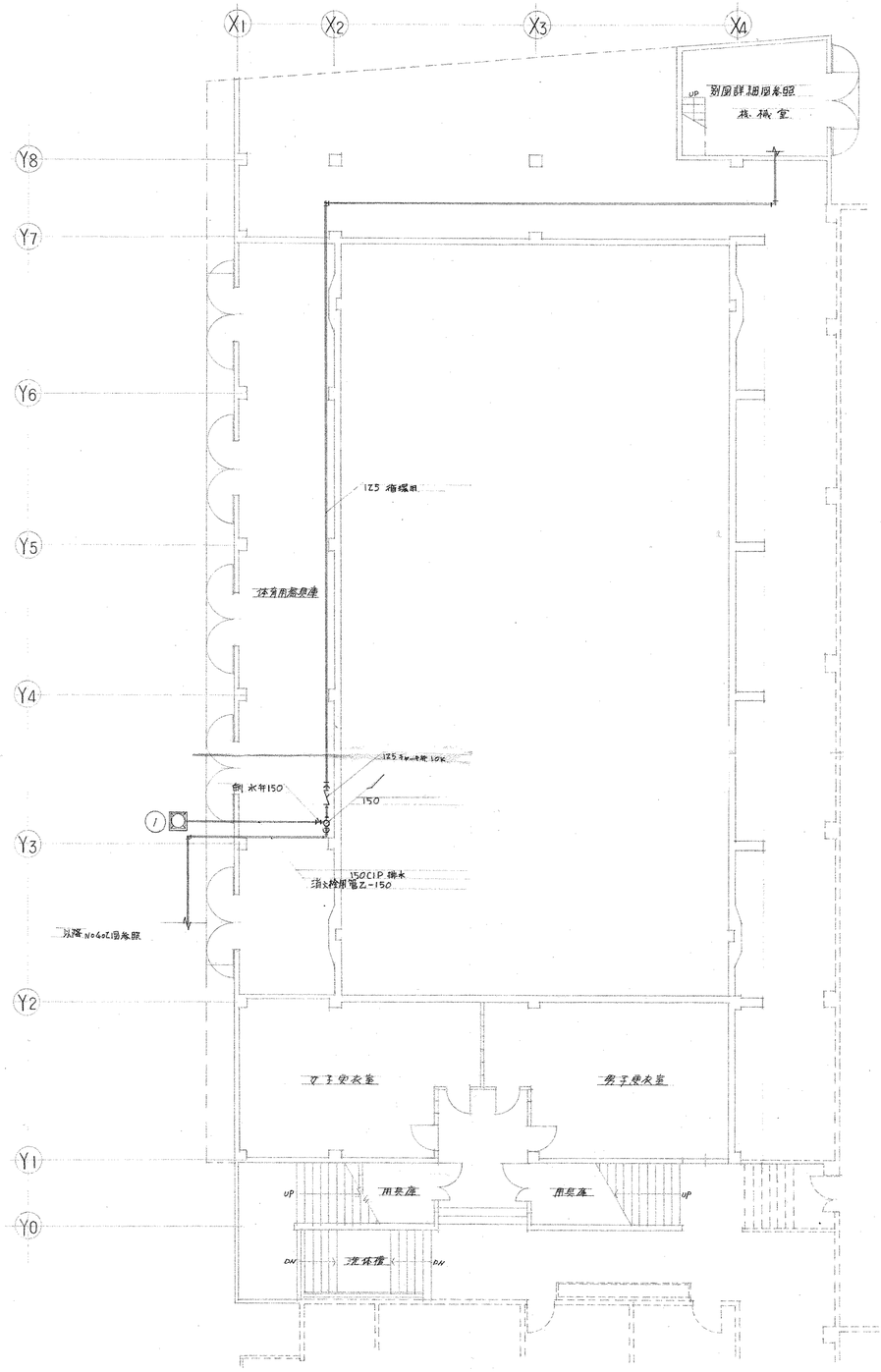
縮尺 1:100

設計番号

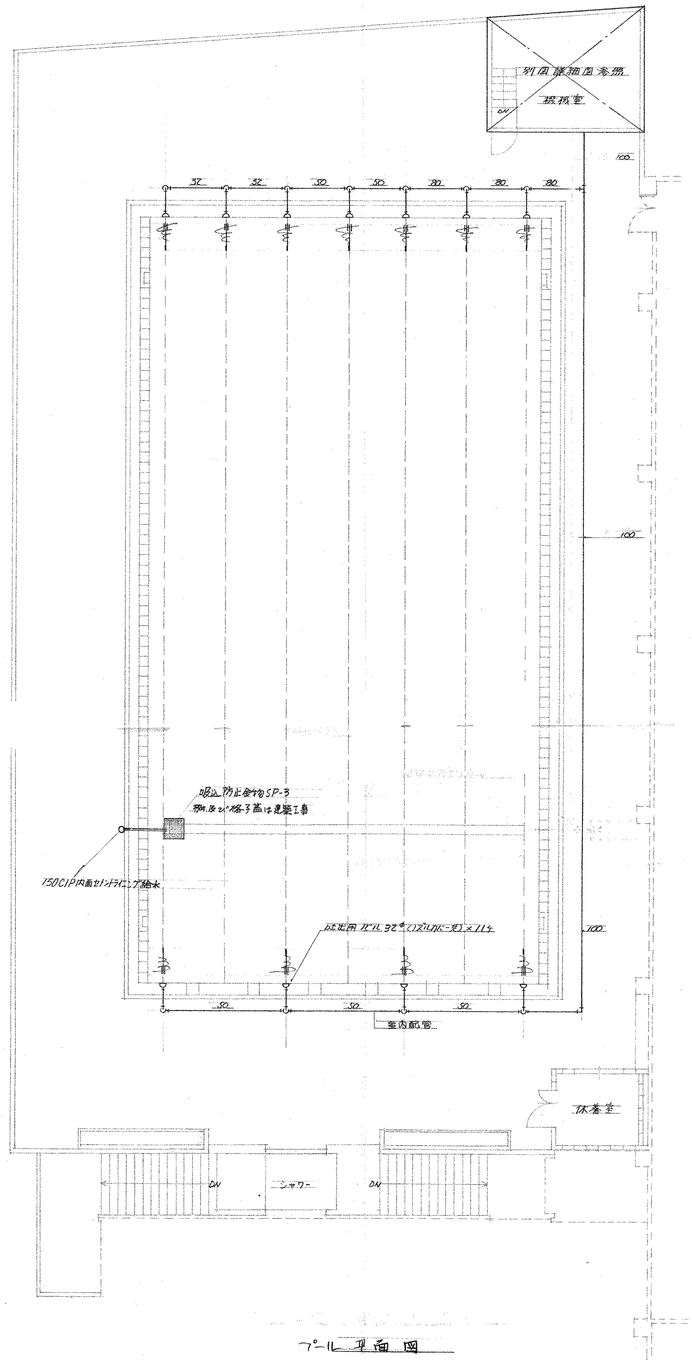
設計年月日 50・4・

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 登録番号第8016 小河吉之



平面図



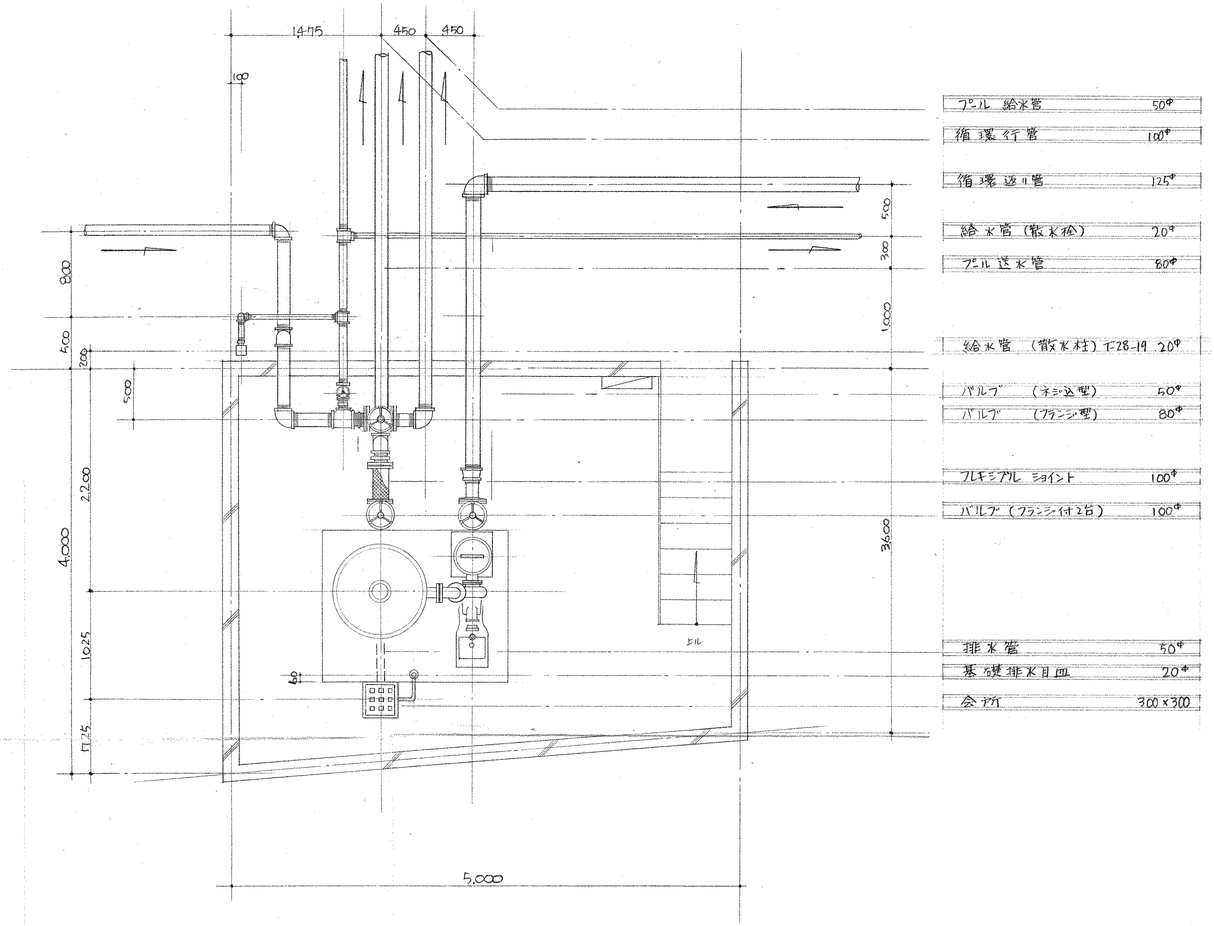
プール平面図

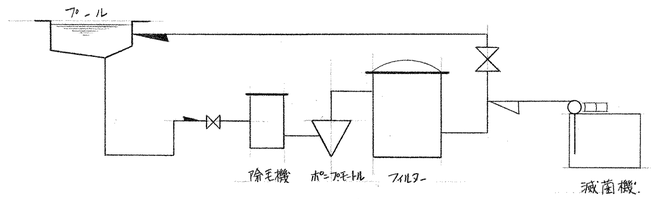
竣　工　図

工事名	四条畷市立四条畷南中学校プール新設工事
図面番号	404/
図面名	平面図 (2)
縮尺	1:100
設計番号	
設計年月日	50・4・

株式会社　小河建築設計事務所

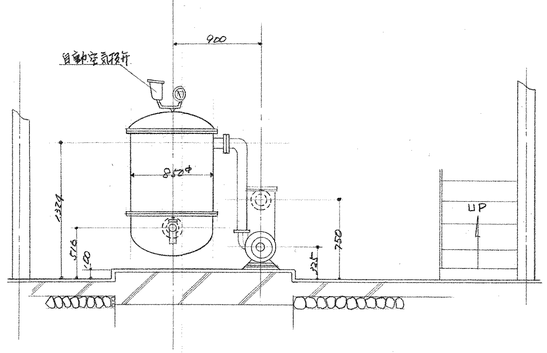
1級建築士　登録番号第8016　小河吉之助

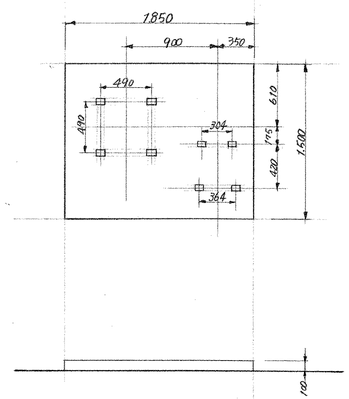




フロー シート

機器仕様	
型式：	MAX-Ⅱ型
能力：	60～84 m³/Hr
フィルター：	再生可能カートリッジ 240本入
	850φ 耐蝕アルミ(5052)製
ポンプモートル：	エバラ 100 SFM
除毛機：	290φ 耐蝕アルミ(5052)製
滅菌機：	モノスーダー BZ-510 200ℓタンク付
全自動制御盤：	MAX-Ⅱ型用
圧力計：	3/8 × 75φ BC製
空気抜弁：	1/2 FC製
機器配管：	100A VP管





基礎図

竣工図

工事設計図	NO. —
SCALE	DESIGN

昭和 年 月 日

株式会社 小河建築設計事務所

1級建築士 小河吉之助 登録番号 No. 8016